

松山市埋蔵文化財調査年報 20

平成 19 年度

2008

松山市教育委員会
財団法人松山市生涯学習振興財団
埋蔵文化財センター

松山市埋蔵文化財調査年報 20

平成 19 年度

2008

松山市教育委員会
財団法人松山市生涯学習振興財団
埋蔵文化財センター

序

本書は、平成19年度に松山市教育委員会と埋蔵文化財センターが市内において実施した発掘調査の概要報告ならびに松山市考古館が同年度に行った展示会、講演会などの教育普及活動の概要をまとめたものです。

平成19年度に行われた発掘調査では、縄文時代から中近世に至る数多くの遺構と遺物が発見されています。重要遺跡確認調査の樽味四反地遺跡18次調査では、全国的に注目されている弥生時代終末から古墳時代初頭の大型建物3棟のうち、2つの大型建物がほぼ同時期に建設され大規模な施設であったことが確認されました。また、葉佐池古墳5次調査では、墳丘の形態が楕円形であるということが新たに明らかとなりました。史跡整備が進む松山城三之丸跡7・8・9次調査では、発見された江戸時代の道路跡や施設跡などが古絵図や古記録の記載とほぼ一致したほか、出土した遺物から武士階級の生活の一端を垣間見ることができると、郷土の歴史を知る数多くの資料を得ることができました。このような資料・成果が得られましたのも、関係各位の埋蔵文化財に対するご理解とご協力のたまものと感謝し、厚くお礼申し上げる次第です。

また考古館では、20数年にわたる市内遺跡の発掘調査を踏まえた教育普及活動に力を入れ、特別展等各種展示会の開催をはじめ、市内小・中学校や地区、公民館等への出前講座、火おこし、勾玉づくり等の体験学習など、多くの方々に古代の松山の歴史に直接ふれていただく機会を設けました。今後とも、発掘調査の現地説明会などの開催をはじめ、市民の皆様が気軽に利用頂けるような埋蔵文化財センター・考古館としていきますので、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本書が、松山市民をはじめ、ひとりでも多くの方々に埋蔵文化財の保護・普及と調査研究のための資料として、ご活用いただければ幸いに存じます。

平成20年12月26日

財団法人松山市生涯学習振興財団
理事長 中村時広

例 言

1. 本書は、松山市教育委員会と財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センターが、平成19年4月1日から平成20年3月31日までに実施した発掘調査の概要と、松山市考古館が行った教育普及事業の成果などをまとめた年次報告書である。
2. 確認調査については、第Ⅱ章の表にその概要をまとめた。
3. 各調査の報告は、発掘調査担当者が執筆し、編集は山本健一が行った。
4. 本書に掲載した写真の大半は、大西朋子が撮影した。
5. 位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。
6. 遺構は、以下の略号で記した。
SB：竪穴式住居址（建物址） 掘立：掘立柱建物址 SR：自然流路 SD：溝 SG：池
SE：井戸 SK：土坑 SA：柵、柱列 SP：柱穴 SX：性格不明遺構
7. 各図の方位は、国土座標第Ⅳ座標系に基づく座標北を基本とする。なお、磁北の場合には方位の上に「磁北」と記入した。
8. 刊行組織は、以下の通りである。（平成20年4月1日現在）

松山市教育委員会	教育長	土居 貴美
事務局	局長	石丸 修
	企画官	仙波 和典
	企画官	古鎌 靖
	企画官	岸 紀明
文化財課	課長	家久 則雄
	主幹	森 正経
	主幹	森川 恵克
(財)松山市生涯学習振興財団	理事長	中村 時広
	事務局長	吉岡 一雄
埋蔵文化財センター	所長兼考古館館長	丹生谷博一
	次長	折手 均
	次長	重松 佳久



整理作業協力者（五十音順）

青野茂子・浅井茂之・池内芳美・石川千代美・石丸由利子・猪野美喜子・岩本美保・江島淳子・大野裕子・岡田弥生・岡本邦栄・越智田美紀・金子育代・川添利恵・菅留美・木下奈緒美・木西嘉子・桐間ゆかり・忽那理恵・國田克彦・佐伯利枝・篠森千里・新保恵美子・末光美恵・仙波千秋・仙波ミリ子・高尾久子・田崎真理・多田川富美子・戸川安子・中村紫・西川千秋・西本三枝・丹生谷道代・萩野ちよみ・原田由美・東山里美・平岡直美・福岡志保美・堀眞也・本多智絵・政本和人・松下郁子・松本美代子・水口あをい・村上真由美・森田利恵・八木幸徳・矢鋪妙子・矢野久子・山下満佐子・山邊進也・渡邊佐代枝

9. 以下の方々より、ご指導・ご協力を賜った。（五十音順・敬称略）

上原真人（京都大学大学院）・内田九州男（愛媛大学）・岡村道雄（奈良文化財研究所）・定森秀雄（徳島大学）・下條信行（愛媛大学）・高尾浩司（鳥取県教育委員会）・高瀬哲郎（佐賀県立名護屋城博物館）・田崎博之（愛媛大学）・多田 仁（愛媛県埋蔵文化財調査センター）・田中哲雄（東北芸術工科大学）・長井數秋（日本考古学協会会員）・中村箒山（天理大学）・名本二六男（日本考古学協会会員）・濱田寛彦（鳥取県教育委員会）・深澤芳樹（奈良文化財研究所）・前園実知雄（奈良芸術短期大学）・前谷雅貴（正派邦楽会）・松原弘宣（愛媛大学）・三浦正幸（広島大学）・三吉秀充（愛媛大学）・村上恭通（愛媛大学）・山中敏史（奈良文化財研究所）・吉田広（愛媛大学）

10. ご指導・ご協力を賜りました機関は、次のとおりである。（五十音順・敬称略）

愛媛県教育委員会／愛媛県歴史文化博物館／香川県埋蔵文化財センター／株式会社京都科学／株式会社古環境研究所／株式会社パレオ・ラボ／株式会社吉田生物研究所／国立大学法人愛媛大学／国立大学法人広島大学／財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター／財団法人元興寺文化財研究所／財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター／財団法人徳島県埋蔵文化財センター／佐賀県立名護屋城博物館／史跡松山城跡整備検討委員会／東北芸術工科大学／独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所／鳥取県教育委員会／奈良芸術短期大学／日本考古学協会／パリオ・サーヴェイ株式会社／前谷雅貴社中

11. 本書の仕様は以下のとおりである。

製版 カラー写真・写真図版 - 175 線
印刷 オフセット印刷
用紙 本文：マットコート
製本 アジロ綴じ

本文目次

I 平成19年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
善応寺大庭北遺跡	2
道後今市遺跡14次調査	3
松山城黒門跡2次調査	4
松山城黒門跡3次調査	5
松山城三之丸跡7次調査	6
松山城三之丸跡8次調査	7
松山城三之丸跡9次調査	8
榊味高木遺跡14次調査	9
榊味高木遺跡15次調査	10
榊味四反地遺跡17次調査	11
榊味四反地遺跡18次調査	12
榊味四反地遺跡19次調査	13
東本遺跡9次調査	14
東本遺跡10次調査	15
小坂遺跡5次調査	16
小坂遺跡6次調査	17
星岡遺跡1次調査	18
星岡遺跡2次調査	19
西石井遺跡4次調査	20
北久米遺跡7次調査	21
南久米町遺跡5次調査	22
久米高畑遺跡69次調査	23
久米高畑遺跡70次調査	24
來住庵寺34次調査	25
平井遺跡6次調査	26
平井遺跡7次調査	27
水泥遺跡4次調査	28
水泥遺跡5次調査	29
水泥遺跡6次調査	30
葉佐池古墳5次調査	31
II 平成19年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	34
松山市埋蔵文化財確認調査一覧	37
松山市埋蔵文化財本格調査一覧	46
III 平成19年度 保存処理及び出土遺物整理	49
1. 平成19年度出土遺物整理の概要	
2. 保存処理	
3. 出土遺物整理	

IV 平成19年度 受託事業	55
報告書作成整理作業 「タンチ(双子)山古墳」	
V 平成19年度 普及啓発事業	57
1. 展示活動 2. 教育普及活動 3. 収集・保管活動 4. 広報・出版活動	
5. 資料の貸出・調査 6. 職員研修・会議 7. 考古館月別入館者数調	

挿図・写真目次

I 平成19年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
善応寺大庭北遺跡	2
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 第Ⅲ層検出状況(南より)
	写真2 第Ⅲ層遺物出土状況(南西より)
道後今市遺跡14次調査	3
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 1区土坑検出状況(東より)
松山城黒門跡2次調査	4
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 西石垣上段完掘状況(北より)
	写真2 西石垣上段東西ベルト北壁断面(北より)
松山城黒門跡3次調査	5
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 解体終了状況(北より)
	写真2 解体終了状況(東より)
松山城三之丸跡7次調査	6
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 武家屋敷石垣(北西より)
	写真2 内堀石垣(北東より)
松山城三之丸跡8次調査	7
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 対象地北半部(南上方より)
	写真2 対象地遠景(北上方より)
松山城三之丸跡9次調査	8
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 東西方向道路の北側側溝(右)と 南北方向道路の西側側溝(左)(北東より)
	写真2 東西方向道路の南側側溝(南東より)
樽味高木遺跡14次調査	9
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 1区B完掘状況(西より)
図2 耳環実測図 (縮尺1:1)	
樽味高木遺跡15次調査	10
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 遺構完掘状況(東より)
	写真2 SB4完掘状況(北東より)
樽味四反地遺跡17次調査	11
図1 調査地位置図 (縮尺1:25,000)	写真1 調査地全景(北より)
	写真2 SB003(北より)

樽味四反地遺跡 18 次調査	12
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 2 区全景 (北より)
図 2 SB001 出土遺物実測図 (縮尺 1:6)	写真 2 SB001 遺物出土状況 (北より)
樽味四反地遺跡 19 次調査	13
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 遺構全景 (南東より)
	写真 2 地鎮遺構 (南より)
束本遺跡 9 次調査	14
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 SB1 遺物出土状況 (南東より)
	写真 2 2 区完掘状況 (西より)
束本遺跡 10 次調査	15
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 SB1 (円形部) 完掘状況 (東上空より)
	写真 2 SB1 完掘状況 (北より)
小坂遺跡 5 次調査	16
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 遺構検出状況 (全景) (西より)
	写真 2 SB1 完掘状況 (北西上空より)
小坂遺跡 6 次調査	17
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 遺構完掘状況 (東より)
	写真 2 SD1・2 遺物出土状況 (東より)
星岡遺跡 1 次調査	18
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 T2 調査状況 (北より)
星岡遺跡 2 次調査	19
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 竪穴住居群 (北より)
西石井遺跡 4 次調査	20
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 遺構完掘状況 (北より)
	写真 2 SB201 遺物出土状況 (北より)
北久米遺跡 7 次調査	21
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	
図 2 遺構配置図 (縮尺 1:400)	
南久米町遺跡 5 次調査	22
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 SX1 検出状況 (北より)
	写真 2 土坑内遺物出土状況 (北より)
久米高畑遺跡 69 次調査	23
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 調査地全景 (南東より)
	写真 2 掘立 4 全景 (西より)
久米高畑遺跡 70 次調査	24
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 SD1 遺物出土状況 (北より)
	写真 2 調査地上空より来住台地を望む (東より)
来住廃寺 34 次調査	25
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 調査完了状況 (北西より)
	写真 2 溝状遺溝遺物出土状況 (北東より)
平井遺跡 6 次調査	26
図 1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	写真 1 調査地全景 (南より)

平井遺跡 7次調査	27
図1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	
写真1 遺構完掘状況 (北より)	
写真2 SD4 遺物出土状況 (南より)	
水泥遺跡 4次調査	28
図1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	
写真1 1区畦畔検出状況 (西より)	
写真2 2区SR1完掘状況 (西より)	
水泥遺跡 5次調査	29
図1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	
写真1 遺構完掘状況 (北西より)	
写真2 2区畝溝検出状況 (東より)	
水泥遺跡 6次調査	30
図1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	
写真1 2区畦畔検出状況 (西より)	
写真2 1区鋤跡完掘状況 (東より)	
葉佐池古墳 5次調査	31
図1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	
図2 墳丘平面図 (縮尺 1:400)	
II 平成 19 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	33
図1 平成 19 年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図 (縮尺 1:80,000)	
III 平成 19 年度 保存処理及び出土遺物整理	49
3. 出土遺物整理	
図1 松山平野出土の畿内産土師器 (縮尺 1:6)	
IV 平成 19 年度 受託事業	55
報告書作成整理作業「タンチ(双子)山古墳」	
図1 調査地位置図 (縮尺 1:25,000)	
写真1 埴輪等遺物検出状況 (北東より)	
図2 円筒埴輪 (底部) (縮尺 1:6)	
V 平成 19 年度 普及啓発事業	57
1. 展示活動	
写真1 特別企画「葉佐池古墳展」風景	
2. 教育普及活動	
写真2 特別展記念演奏会風景	
写真3 考古学講座第3回風景	
写真4 埋蔵文化財講座第1回風景	
写真5 出前教室(火おこし体験)風景	
写真6 出前教室(石製勾玉作り)風景	
写真7 職場体験(中学生)風景	
写真8 発掘現場見学風景	

表目次

II 平成19年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	33
表1 平成19年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧(1)～(9)	
表2 平成19年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧	
III 平成19年度 保存処理及び出土遺物整理	
2. 保存処理	51
表1 平成19年度 金属製品保存処理遺跡名一覧(1)(2)	
V 平成19年度 普及啓発事業	
1. 展示活動	61
表1 展示会一覧	
2. 教育普及活動	62
表2 教育普及活動(講演会等)一覧	
表3 教育普及活動(体験教室)一覧	
表4 教育普及活動(体験学習)一覧(1)(2)	
表5 教育普及活動(現地説明会)一覧	
表6 教育普及活動(職場体験)一覧	
表7 教育普及活動(出前考古学講座)一覧(1)(2)	
4. 広報・出版活動	67
表8 出版物(教育普及活動)一覧	
表9 出版物(調査報告書)一覧	
5. 資料の貸出・調査	68
表10 資料の貸出一覧(1)(2)	
表11 資料の調査一覧	
6. 職員研修・会議	70
表12 職員研修・会議一覧	
7. 平成19年度 考古館月別入館者数調	70
表13 平成19年度 考古館月別入館者数調(平成19年4月1日～20年3月31日)	

I 平成 19 年度
松山市埋蔵文化財調査概要

ぜんおうじおにわきた
善応寺大庭北遺跡

所在地	松山市善応寺甲 82 番地の一部 (包蔵地外)
期間	平成 20 年 1 月 7 日～同年 2 月 15 日
面積	86 m ²
原因	緊急調査
備考	大庭小松集落道工事に伴う調査
担当	山之内志郎



図1 調査地位置図

概要 本調査地は、風早平野中部の高縄山系を背後に控える丘陵裾部に位置し、高山川に面した河岸段丘上に立地する。調査は、弥生時代から中世における集落の構造解明及び範囲確認を主目的として実施した。遺構は、溝2条、土坑1基、柱穴8基、性格不明遺構2基を検出したほか、縄文時代～中世の遺物を含む遺物包含層を確認した。

古代以前の遺構はSK1がある。包含層の掘り下げ途中に検出し、東半部は調査区外のため未検出である。平面形態は長楕円形と推定され、断面形態は二段掘りを呈する。規模は検出長1.08m、検出幅0.30m、残存深さ約23cmを測る。埋没年代は、切り合い関係や出土遺物から8世紀代以前と推定される。

古代の遺構はSD1がある。東西方向に長く伸びる溝で、規模は検出長1.45m、上場幅0.24～0.35m、残存深さ約11cmを測り、断面形態は逆台形状を呈する。出土遺物は土師器及び須恵器がある。埋没年代は、切り合い関係や出土遺物から8世紀代と考えられる。

中世の遺構は、切り合い関係や埋土からSD2や柱穴を検出している。

まとめ 本調査では、主に弥生時代～中世の遺構と、縄文時代～中世に及ぶ遺物を確認することができた。SK1を検出したことから古代以前の集落の一角であると考えられ今後周辺において住居跡などの遺構が確認される可能性が高い。SD1はわずか1mあまりの検出であったが、直線的に東西方向に伸び、かつ断面形態から人工的に掘り込まれたものと推定されるため、集落などの区画溝である可能性が高い。中世ではSD2や柱穴を検出したことから当該時期において集落が広がっていたことを示す重要な資料といえる。今後は周辺域における調査を進めることにより、地方家族である河野氏関連の遺構のほか弥生時代～中世における集落の構造とその範囲や変遷の解明を進めていきたい。



写真1 第Ⅲ層検出状況(南より)



写真2 第Ⅲ層遺物出土状況(南西より)

どうこいまいち 道後今市遺跡 14 次調査

所在地	松山市道後今市 1054 番 7 の一部 (包蔵地№ 68)
期 間	平成 20 年 2 月 1 日～同年 2 月 29 日
面 積	137.85 ㎡
原 因	緊急調査
備 考	マンションの建築に伴う調査
担 当	吉岡和哉



図 1 調査地位位置図

概 要 地表面より約 1.4 m 下がったレベルにて基盤層（にぶい黄橙色粘質微砂:Hue10YR7/4）を検出し、基盤層より掘り込む土坑を 10 数基確認した。土坑内に堆積した埋土中より、弥生時代から古代にかけての遺物と共に、近現代の瓦片、ガラス片等が出土しており、これらの土坑は全て近現代以降に掘り込まれたと考えられる。

まとめ 近現代に掘り込まれた土坑の機能および性格は、現時点では判らないが、検出した土坑は生活の営みに伴って人為的に掘り込まれたものであることには違いなく、今後解明すべき課題である。古い時代の遺構が近現代の造成によってすべて消滅している状況は、非常に残念であったが、土坑の内部から出土した遺物の中には弥生時代から古代にかけての遺物が多く含まれており、したがって、近現代の土坑が掘り込まれる以前に、この場所に弥生時代から古代にかけての遺物包含層あるいは遺構が存在していた可能性が高い。今回の調査によって、間接的ではあるが弥生時代から古代に属する集落の存在を確認することができたことは、大きな成果である。



写真 1 1 区土坑検出状況（東より）

松山城黒門跡2次調査

所在地	松山市堀之内（史跡松山城跡）
期間	平成19年8月21日～同年12月2日
面積	約120㎡
原因	史跡整備に伴う確認調査
備考	城山公園整備事業に伴う確認調査
担当	楠寛輝（文化財課）



図1 調査地位図

概要 黒門跡石垣は、西及び北石垣に大きな孕み出しが確認され、修復工事を行うことになったため、工事に先立ち、昨年度、工事で破壊される石垣上面の遺構の確認と孕み出しの原因究明を目的に1次調査を行った。その結果、石垣の孕み出しの主因が、石垣内部への雨水の流入であることが分かった。また、近世・近代を通じて何度も改修を受けていることや、近世段階では石垣上面には土層が続いていたことが考古学的に確認された。今回はこの1次調査に続き、石垣の内部構造や根石等の確認を目的に2次調査を行った。【西石垣上下段】1次調査の際に石垣の中心部で見つかった近世盛土である明黄褐色粘質土の堆積状況を確認するため調査を実施し、この層が上下段の区別なく厚く堆積していることを確認した。絵図等も考慮すると、近世段階では上下段の段差はなかった可能性が高まった。【トレンチ1】北石垣北側で、黒門跡から北に続く近世土居の土留を確認するため調査を実施したが、明確な遺構は検出できなかった。【トレンチ2】北石垣の前面で、根石を確認するため調査を実施し、根石は現在見えている最下段の石材で、地山を根切りし、直接据えられていることを確認した。【トレンチ3】西石垣西面の入角部分で、根石を確認するため調査を実施し、石垣が地下約2.5m続いていることを確認した。見つかった石垣は、積み方や加工方法、トレンチ最下層からの出土遺物等から、加藤嘉明による築城段階の石垣である可能性が高く、築城時は、現在見えている約3.5mを加え、約6mの高さだったことが分かった。また、トレンチ最下層から上は、近世の造成土が1m以上も堆積していた。松平氏入封後の三之丸御殿の整備に伴う可能性も考えられる。

まとめ 今回の調査では、黒門の往時の姿を示唆する数多くの成果を得た。今後の修復にあたっては、今まで調査成果を踏まえ、「文化財の保存」と「安全の確保」の両立に努めたい。（楠）



写真1 西石垣上段完掘状況（北より）



写真2 西石垣上段西ベルト北壁断面（北より）

松山城黒門跡3次調査

所在地	松山市堀之内（史跡松山城跡）
期間	平成19年12月3日～平成20年2月5日
面積	約100㎡
原因	史跡整備に伴う確認調査
備考	城山公園整備事業に伴う確認調査
担当	楠寛輝（文化財課）



図1 調査地位位置図

概要 黒門跡石垣は、西及び北石垣に大きな孕み出しが確認され、修復工事を行うことになったため、工事に先立ち、昨年度から2度の確認調査を実施した。その結果、孕み出しの主因が石垣内部への雨水の流入であることや、黒門の往時の姿を示唆する数多くの成果を得た。今回はこの2度の確認調査に続き、石垣の内部構造の把握を目的に、石垣の解体工事と並行して3次調査を実施した。調査の結果、まず石積みは、築石の接し方は悪く、間詰めも多くも化粧で、控の調整や補強はほぼ全て栗石と、とても粗雑なものであった。築石を据えた後、控に栗石を敷き詰め、その栗石で調整しながら次を積み上げており、石垣の強度よりも施工速度を優先したとも言えるこのような工法は、前回修復を行った櫓門跡石垣とも全く同様であった。盛土は、大部分が遺物のほとんど含まれない明黄褐色粘質土だったが、盛土最下層からは灰や炭と近世の瓦や陶磁器が広範に確認され、この石垣が大規模に改修されていることが分かった。裏込は基本的に栗石だったが、根石部分だけは栗石に粘土が混ぜられており、根石の固定と浸水防止を意図していたものと思われる。なお、裏込の中から、全国で初めて、地藏の文字と地藏や侍の絵が墨書された栗石が見つかった。また、これも類例は多くはないが、築石の控に「七丈」といった法量や、刻印的な記号を墨書したものや、矢の形に錆が付着した矢穴が見つかった。これらは、不明な点の多い石垣普請の様子を具体的に物語る貴重な発見である。

まとめ 今回の調査では、松山城で初めて1つの石垣の構造全体とその変遷を考古学的に確認でき、また、松山城における石垣修復に伴う基本的な確認調査手法が確立できた。また、墨書栗石をはじめ、不明な点の多い近世の石垣普請の様子を具体的に物語る数多くの成果を得た。今後の積上げにあたっては、今まで調査成果を踏まえ、「文化財の保存」と「安全の確保」の両立に努めたい。（楠）



写真1 解体終了状況（北より）



写真2 解体終了状況（東より）

まつやまじょうさんのまるあと
松山城三之丸跡 7次調査

所在地	松山市堀之内（市営競輪場跡地）
期間	平成19年8月6日～平成20年3月31日
面積	約740㎡
原因	史跡整備に伴う確認調査
備考	城山公園整備事業に伴う確認調査
担当	西村 直人・武田 尊子（文化財課）



図1 調査地位位置図

概要 今回の調査は、競輪場跡地南部及び南東部付近の江戸時代の道路跡および内堀跡等、土地区画に関連する遺構を確認することを目的とした。調査方法はトレンチ調査を採用した。遺構は、御用米蔵の石垣跡、元小普請所の石垣跡、道路跡、内堀石垣跡などを確認した。

御用米蔵の石垣は1,2段残存し、築石は残存高約10cmを測る。石材は花崗岩が多くを占め、裏込は、石間が粘土によって目潰しが施されているなど一般の武家屋敷に比べ、石材の質や大きさ、構築方法ともに異なる。また、6次調査の結果と併せて、御用米蔵の西側辺長が約55mで、敷地が平面台形を呈することが分かった。元小普請所の石垣は2段の残存を確認し、加えて土堀の柱跡とみられる柱穴を2基検出した。道路遺構は3条を検出した。3条とも北から東へ正方位より1°前後傾いており、いずれも古絵図に記された道路幅の寸法とほぼ一致している。内堀石垣は、入隅を形成せず、緩やかなカーブを描く。護岸は、石垣が下部のみに構築される腰巻石垣で、断面形は二段落ちを呈し、最上面から堀底面までは高さ約260cmを測る。築石は桐木上に天端まで4,5段積まれ、高さ約110cmを測る。石材は砂岩が多くを占め、矢穴は少ない。近代の改修によるものである可能性が高い。

遺物は、江戸時代の瓦及び陶磁器、鉄製品、銅製品、石製品などが出土した。主に道路側溝及びゴミ穴で出土したもので、食器、玩具、灯火具、暖房具などが確認される。特筆すべきものとして、個人名と俳句の刻書された石製硯や三ツ葉葵紋軒丸瓦が挙げられる。出土した陶磁器は、肥前・瀬戸・美濃、京・信楽系、堺、砥部などの各産地のものが確認できる。

まとめ 今回の調査では御用米蔵及び元小普請所、内堀、道路の詳細な情報を得ることができた。また、あらためて古絵図の記載が概ね正しいこと、武士階級の生活の一端を知ることのできる資料が多数得られたことは、大きな成果である。



写真1 武家屋敷石垣（北西より）



写真2 内堀石垣（北東より）

まつやまじょうさんのまるあと
松山城三之丸跡 8次調査

所在地	松山市堀之内（旧市営プールほか跡地）
期間	平成20年1月7日～同年3月31日
面積	約150㎡
原因	史跡整備に伴う確認調査
備考	史跡公園整備事業に伴う確認調査
担当	加島次郎・西村直人（文化財課）



図1 調査地位位置図

概要 今回は史跡「松山城跡」内の三之丸（城山公園堀之内地区）整備事業に伴う確認調査である。松山市は、平成9年度に組織した「城山公園（堀之内地区）整備計画検討委員会」において確認調査結果を基にさらに詳細な整備計画を策定する基本方針を決定していた。調査はこの方針に基づき土地区画を活かした園路を配置する三之丸南東部、旧市営プールと旧大蔵省四国財務局松山財務事務所跡地を対象とし、松山都市整備部公園緑地課の依頼を受けて実施した。調査のポイントのひとつは江戸期の主要道路遺構である東西方向道路と南北方向道路とが接するT字路（三叉路）を確認することとし、10箇所の調査区を設定したところ、整備計画に直結する土地区画の情報を得ることができた。まとめ 今回の主な調査成果は、あらたに三之丸南東部における江戸期の土地区割りに関する知見を得たことである。地割軸は南北軸が1°程度東、東西軸は1°程度南へ傾いており、南北方向道路で確認した軸線の振れは既往の調査成果を追認するものである。これは堀之内の整備を進める上で重要な調査情報のひとつとなる。T字路の確認は道路遺構の規模と構造を考える上で特筆すべき情報を内包している。付随する側溝の底レベルの検討からは南北方向道路の西側溝のうち、T字路南半部については道路硬化面から側溝に溜まった雨水等が南から北へ流れ、T字路からは屈曲して西に流れることが判明した。これは当時の土地利用と排水機能を考察する一助となり、旧地形との関係で理解する視点が求められる。出土遺物からは地点別の組成比の分析により堀之内に配置された武家屋敷の実像に迫ることが可能となる。さらに、当時の流通とその経路の追及を通じてヒトやモノの交流を考える上であらたな知見が得られるものとみられる。調査の詳細情報については報告書で明らかにしたい。



写真1 対象地北半部（南上方より）



写真2 対象地遠景（北上方より）

まつやまじょうさんのまるあと
松山城三之丸跡9次調査

所在地	松山市堀之内（支払基金跡地）
期間	平成20年3月3日～同年3月31日
面積	約88㎡
原因	史跡整備に伴う確認調査
備考	城山公園整備事業に伴う確認調査
担当	西村 直人（文化財課）



図1 調査地位位置図

概要 今回の調査は、支払基金跡地南部付近の江戸時代の道路跡等、土地区画に関連する遺構を確認することを目的とした。調査方法はトレンチ調査を採用した。主な遺構は、武家屋敷石垣跡、東西方向道路跡及び南北方向道路跡、ゴミ穴等である。すべて近現代の造成土直下で検出した。

武家屋敷の石垣は、攪乱のために裏込を確認できず、残存していたのは1段の築石2石のみであった。築石は道路側溝の側石を兼ねる。残存高は約20cmを測り、石材は砂岩である。東西方向道路は方位をN-1°12'47"-Eに採り、道路側溝幅は南北ともに約50cm、両側溝を含めた道路の全体幅は約7.4mを測る。また、後代に道路幅は8.3m北側に拡張され、同時に北側側溝も移設された可能性が高い。石材は、大振りな砂岩及び花崗岩が使用されている。南北方向道路は検出部分が狭小なため方位は確定できない。西側側溝の石積は、主に花崗岩が使用されているものの、両側面の石材の大きさ積み方が全く異なる。東側側溝は確認されなかったが、東側側溝に並行する栗石が検出されていることから、これを道路の東端とすると、側溝を含めた道路の全体幅は約2.5mと想定される。

遺物は、江戸時代の瓦及び陶磁器、鉄製品、銅製品、石製品などが道路側溝や屋敷地の整地層より出土した。陶磁器は、肥前・瀬戸・美濃、京・信楽系など多様な産地のものが認められる。

まとめ 今回の調査では、江戸時代の武家屋敷石垣跡と道路跡等を確認した。特に、古絵図に記載された道路幅の寸法とほぼ一致する道路跡が確認されたことは、大きな成果である。また、東西方向道路の北側側溝の改修痕跡は、三之丸の地割の変遷を調査する上で良好な資料となろう。



写真1 東西方向道路の北側側溝<右>と
南北方向道路の西側側溝<左>
(北東より)



写真2 東西方向道路の南側側溝
(南東より)

樽味高木遺跡 14 次調査

所在地	松山市樽味四丁目 256 番 1 の一部 (包蔵地№ 81)
期 間	平成 19 年 7 月 23 日～同年 8 月 3 日
面 積	25.4 m ²
原 因	緊急調査
備 考	共同住宅建設工事に伴う調査
担 当	山之内志郎



図 1 調査地位図

概 要 本調査地は、松山平野東部、石手川の氾濫に起因する河岸段丘上に位置する。調査は、弥生時代から中世における集落の構造解明を主目的として実施した。調査区は建設工事の都合上 3 区画に分け、1 区 A、1 区 B、2 区の順に調査を行った。検出した遺構は、土坑 1 基、溝 1 条、柱穴 2 基、性格不明遺構 1 基である。また出土遺物から、基本土層第Ⅲ層は古墳時代以降江戸時代までの、第Ⅳ層は弥生時代中期～古代の遺物包含層と確認した。SK1 は 1 区 B 西部に位置する。平面形態は不整形、断面形態は皿状を呈し、中央付近が若干深くなる。検出規模は 0.45 × 0.36 m、深さ 4cm を測る。埋土は褐色土の単一層で、土坑内から遺物は出土していない。時期は第Ⅲ層と同一埋土のため古墳時代以降と考えられる。SD1 は 1 区 B 東部に位置する。規模は検出長 0.62 m、上場幅 0.52 ～ 0.83 m、深さ 7cm を測る。断面形態は浅いレンズ状を呈する。埋土は暗灰色粗砂質土の単一層で、遺構内部から遺物は出土していない。時期は第Ⅳ層とほぼ同一埋土のため弥生時代～古代と考えられる。包含層からの出土遺物は縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、土師質土器、青銅製品などがある。主なものは 1 区第Ⅲ層中で完形の耳環 1 点、2 区第Ⅳ層では片面視の可能性がある須恵器が出土した。

まとめ 本調査では、弥生時代以降の遺構のほかに、包含層から縄文時代から江戸時代の遺物を確認することができた。調査区が狭小であったため、各遺構の性格解明には至っていないが、今後の周辺地域での調査から当時の集落域を復元できる可能性は高い。今回調査を行った樽味地区は近年松山市道樽味溝辺線道路工事に伴う調査などにより、古墳時代中期をはじめとして新しい発見が相次いでおり、今後も周辺域における調査を進めることにより、更に弥生時代～中世集落の構造とその変遷の解明を進めていきたい。



写真 1 1 区 B 完掘状況 (西より)

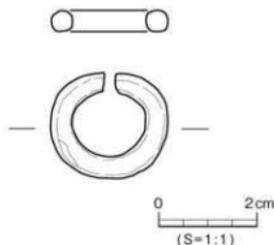


図 2 耳環実測図

樽味高木遺跡 15 次調査

所在地	松山市樽味2丁目90-2の一部 (包蔵地No.81)
期間	平成19年12月4日～平成20年1月31日
面積	169.5㎡
原因	緊急調査
備考	共同住宅建築に伴う調査
担当	水本完児・宮内慎一



図1 調査位置図

概要 調査地は松山平野北東部、石手川左岸の標高4250～4285mに立地する。申請地周辺では、樽味高木遺跡（1～14次調査）、樽味四反地遺跡（1～19次調査）、樽味遺跡（愛媛大学構内）などがあり、縄文時代晩期から中世までの集落関連遺構や遺物が確認されている。

遺構・遺物 基本層位は、第Ⅰ層から第Ⅳ層の4層である。第Ⅰ層表土、第Ⅱ層灰褐色土、第Ⅲ層暗褐色土、第Ⅳ層明褐色土である。検出した遺構は、竪穴式住居址11棟、掘立柱建物址3棟、土坑6基、柱穴113基、性格不明遺構1基である。遺物は遺構内から、弥生土器、土師器、須恵器、石器、ガラス小玉が出土した。以下、時期別に主な遺構の概略を説明する。

【弥生時代】 弥生時代の遺構は、竪穴式住居址1棟と土坑1基である。このうち、SB4は東西検出長5.60m、南北4.20m、壁高は5～25cmを測る円形住居址で、主柱穴は4本を検出した。そのほか、住居床面にて炉と土坑を検出した。遺物は埋土中より、弥生土器、土師器片、ガラス小玉が出土した。出土した弥生土器の特徴より、廃棄・埋没時期は弥生時代後期後半～末とする。

【古墳時代】 古墳時代の遺構は、竪穴式住居址7棟、掘立柱建物址3棟、土坑5基である。竪穴式住居址は、古墳時代中期から後期に時期比定されるものであるが、調査の進行上、すべての住居址を検出することができず、課題を残す結果となった。また、掘立柱建物址は全体像が検出されておらず、今後は、周辺地域の調査により、建物の規模や時期等が解明されるものと期待している。

まとめ 本調査では、弥生時代から古墳時代までの遺構や遺物を確認することができた。今後は、さらに調査・研究を重ね、樽味地区における弥生時代から古墳時代までの集落経営や動態を明らかにしていくことが急務となる。(水本)



写真1 遺構完掘状況（東より）



写真2 SB4完掘状況（北東より）

樽味四反地遺跡 17 次調査

所在地	松山市樽味4丁目221-1の一部 (包蔵地№81)
期間	平成19年4月16日～同年7月20日
面積	502㎡のうちの212.25㎡
原因	国庫補助市内遺跡発掘調査事業
備考	重要遺跡確認調査
担当	橋本雄一・栗田正芳（文化財課）



図1 調査地位置図

概要 平成10年の同6次調査以降、3棟の大型建物が検出されている地点から北東に約50m離れた場所において調査を実施した。その結果、竪穴住居5棟、掘立柱建物5棟、土坑11などを検出した。SX001は古墳時代前期の低地で、小型丸底壺の完形品1点が出土している。なお、大型建物群との関係を指摘できる遺構は検出されなかった。

調査地北西部で検出された2棟の竪穴住居のうち、円形のSB001は弥生時代後期、方形のSB002は古墳時代中期のものである。特筆すべきは、南東部にて検出された長方形の竪穴住居SB003において、その南東角にカマドが造りつけられていた点である。松山周辺では、住居の隅にカマドが造りつけられるのは極めて稀なことから、関東周辺をはじめとする遠隔地との交流の結果かと推測している。時期は5世紀の中頃と考えている。

掘立柱建物の柱穴からは年代を厳密に決めることのできる遺物は出土していないが、様々な特徴から、古墳時代後期後半ないし終末段階、場合によると7世紀後半ごろに所属する可能性を想定している。詳細が明らかでない掘立002を除く4棟については、方位が近似するほか、一部の柱筋が揃う場合も認められることから、近接した時期に建てられた相互に関連のある建物であった可能性が高い。まとめ 包含層からの出土ではあるが、大型の円面硯の破片1点が出土していることから、当調査地の南東約50mに位置する同5次調査地における成果（平成9年度調査、硯3点出土）とあわせて考えると、付近に官衙等の遺構が存在する可能性が濃厚である。ただし、今回の調査で検出された掘立柱建物がこれに該当するか否か、現状では不明である。



写真1 調査地全景（北より）



写真2 SB003（北より）

樽味四反地遺跡 18 次調査

所在地	松山市樽味4丁目229-5の一部
期 間	平成19年5月7日～同年6月6日
面 積	364㎡のうち52.7㎡
原 因	国庫補助市内遺跡発掘調査事業
備 考	重要遺跡確認調査
担 当	橋本雄一・栗田正芳（文化財課）



図1 調査地位位置図

概 要 平成15年の同8次調査の際に検出された大型建物の北西角の位置を正確に知る目的で、17年度の重要遺跡確認調査（G区・T16、「年報18」）に重複する位置に再び調査区（2区）を設定した。この建物は、近接して建てられている古墳時代初頭頃の計3棟の大型建物のうち最大規模のものである。調査の結果、北西角柱穴と建物北辺を構成する東隣の柱穴について、ともにその一部を検出した。

特筆すべき成果としては、北西角柱穴と重複する位置において小型の竪穴建物 SB001 を検出し、ここから、古墳時代前期初頭頃の土器群が出土した点である。小型の円筒形支脚の上に小型の鉢を載せ、その横から支手を伴う支脚が支える形で出土している（写真2）。壺は土器群が据え置かれた浅い窪みの縁にあたる若干高い位置に置かれていたものが、重機によって掘削時に掘り上げられたものである。

まとめ SB001 と柱穴の先後関係については、T16の掘削時に削られているため不明である。しかし、空間的に重複することから、3棟のうち2号大型建物の所属時期の上限を、弥生終末から古墳初頭ころに比定できるようになった成果は大きい。（橋本）

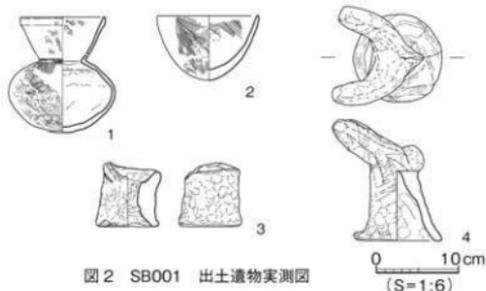


図2 SB001 出土遺物実測図



写真1 2区全景（北より）



写真2 SB001
遺物出土状況（北より）

たるみしたんじ
樽味四反地遺跡 19 次調査

所在地 松山市樽味4丁目219-3、220-1の各一部
 期間 平成19年11月16日～平成20年3月31日
 面積 708㎡のうち約290㎡
 原因 重要遺跡確認調査
 担当 小笠原 善治



図1 調査地位位置図

概要 今回の調査は、弥生時代終末～古墳時代前期初頭の総柱型大型掘立柱建物関連遺構・遺物と遺跡の範囲の確認、および周辺調査地に関わる遺構の確認を主目的に行い、弥生時代前期と後期～古墳時代後半、古代～中世にかけての遺構・遺物を検出した。遺構は、掘立柱建物跡7棟、竪穴式住居跡6棟、土坑9基、溝2条、柱穴200基以上、性格不明遺構2基、中世墓3基および地鎮に関連する遺構2基である。調査地北「樽味四反地遺跡7次調査地」で検出された、弥生時代前期の溝SD1の南延長部分を確認した（併せて約35m）。弥生時代後期末の土坑SD5からは、大型建物の柱穴（23）から出土した器台と同様な、口縁部に複数条の波状文に円形浮文が付く土器片が出土している。竪穴式住居跡SB4・SB5は北辺または北西隅に竈を持ち、竈から6C末～7C後半の須恵器の坏蓋・坏身をそれぞれ検出した。また、ほぼ方形の弥生時代後半のSB6は直径約6.3m、深さは約80cmにも達し、やや大型の部類に入る。掘立1、3は建物の軸方向がほぼ正方位を向く建物であり、柱穴はほぼ方形で、床面は平坦な柱穴が多い。遺構からは6C末の須恵器片が出土しており、遺構周辺から布目平瓦（7C後半～）の出土もある。近接遺跡の「樽味四反地遺跡5次調査地」から片面覗の出土があることなどからも、古墳時代終末から古代にかけての役所施設の可能性があると考えられる建物跡である。そのほか、平安時代の甕型土器が埋納された地鎮に関連すると考えられる遺構や、室町時代の土師皿が直線的に配置、埋納された遺構を検出している。今回の調査では、大型掘立柱建物に密接に関連する遺構は確認されなかったが、当該時期前後の集落域確認の成果は挙げることができた。また、それ以後の古墳時代後半、奈良時代前後の役所施設や中世の地鎮遺構など、多彩な遺構を確認し、古墳時代後半から中世にかけての樽味地区の様相を知る貴重な資料を得ることができた。（小笠原）



写真1 遺構全景（南東より）



写真2 地鎮遺構（南より）

つかもと 東本遺跡 9 次調査

所在地	松山市東本1丁目116番1、117番1の 各一部（包蔵地№83 枝松遺物包含地）
期 間	平成19年5月16日～同年8月31日
面 積	476㎡
原 因	緊急調査
備 考	市道中村桑原線道路改良工事に伴う調査
担 当	相原秀仁・宮内慎一



図1 調査地位置図

概 要 本調査は、市道中村桑原線道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査である。調査地は、石手川左岸の低位段丘上、標高34.0～34.30mに立地し、調査以前は宅地であった。調査地の周辺では、弥生時代から古墳時代にかけての集落関連遺構が確認されている。

本調査で検出された遺構は、竪穴式住居址2棟（弥生時代後期）、溝1条（弥生時代）、土坑3基（中世）、ピット142基（古代～中世）である。遺物は遺構や包含層中から弥生土器、須恵器、土師器、瓦器、青磁、石応丁、石鏃、砥石、水晶、ガラス小玉などが出土した。

注目される遺構には竪穴式住居址SB1がある。SB1は推定直径10.2mを測る大型円形住居址である。周壁溝や支柱穴の検出状況から、改築が施された住居址である。内部施設は支柱穴（10本：改築時、8本：構築時）、炉、高床部を検出した。このうち高床部上面には、径75～130cm、深さ40～50cmを測る円形土坑3基を検出した。遺物は甕、壺、鉢、高坏、器台が大量に出土し、器種構成比をみると高坏や器台が占める割合が比較的高い。出土状況は高床部の付近にはあまりなく、住居址の中央部付近に集中して出土しており、埋土下位では破損品が多く埋土上位では破片が大半を占めていた。なお、埋土下位出土品のうち、壺形土器の下半部が底部を上側にし、上半部がその上に据え置かれた状態で出土したものがあつた。

まとめ 今回の調査では、弥生時代から中世までの遺構や遺物を確認した。特にSB1では特異な遺物の出土状況がみられたことから何らかの廃棄行為がおこなわれて、弥生時代後期における住居廃絶方法を解明するうえで貴重な資料となる。（相原）



写真1 SB1 遺物出土状況（南東より）



写真2 2区完掘状況（西より）

つかもと
東本遺跡 10 次調査

所在地	松山市東本 1 丁目 116 番 2 の一部 (包蔵地 No. 83)
期 間	平成 19 年 9 月 3 日～同年 10 月 15 日
面 積	約 190 ㎡
原 因	緊急調査
備 考	市道中村桑原線道路改良工事に伴う調査
担 当	相原 浩二



図1 調査地位置図

概 要 調査地は、石手川左岸の扇状地上(標高 34.40 m)に立地している。調査地周辺は東部環状線や市道中村桑原線の道路改良工事に伴う発掘調査が数多く実施され、弥生時代から中世までの集落関連遺構や遺物が見つかった地域となっている。

調査地の基本層序は上から第Ⅰ層造成土、第Ⅱ層耕作土、第Ⅲ層黄灰色土、第Ⅳ層灰褐色土、第Ⅴ層黒褐色土、第Ⅵ層黒色土、第Ⅶ層暗褐色土、第Ⅷ層褐色土、第Ⅸ層暗褐色土〔AT 火山灰混入〕、第Ⅹ層黄色土である。このうち第Ⅲ層、第Ⅳ層、第Ⅴ層は、遺物包含層である。第Ⅲ層と第Ⅳ層は中世の遺物を、第Ⅴ層は弥生時代の遺物を包含する。遺構の検出は、中世の遺構を第Ⅴ層上面で行い、弥生時代の遺構は第Ⅵ層上面で行った。第Ⅴ層上面で検出した遺構は土坑 2 基、柱穴 96 基である。遺物は土師器、青磁が出土している。第Ⅵ層上面で検出した遺構は堅穴住居 1 棟、土坑 1 基、柱穴 8 基である。遺物は弥生土器、鉄製品などが出土している。主な遺構には、堅穴住居 (SB1) がある。

SB1 は、平面形が円形を呈する。検出規模は直径 7.60 m、壁高 0.29 m～0.37 m、検出面から床面までの深さは 0.60 m を測る。住居の特徴には炉と考えられる施設を二カ所にもつほか、ベッド状遺構の付設、貼り床、周壁溝 2 条をもつ。貼り床上では、柱穴 5 基を検出した。このほか、床面とベッド状遺構の基底部より平面形が方形に廻る周壁溝 2 条と床面基底部より柱穴 4 基を検出した。遺物は土器類のほか、鉾が貼り床上で出土している。時期は、出土遺物より弥生時代後期終末と考えている。まとめ 今回見つかった堅穴住居は、周壁溝の遺存状況や柱穴の配置などから建替えの可能性をもつ住居である。当初は、方形の住居であったものが建替えにより若干拡張され、円形になったものと考えられる。この事例は、松山平野の弥生時代における住居平面形態の変遷を考える上で貴重な資料である。

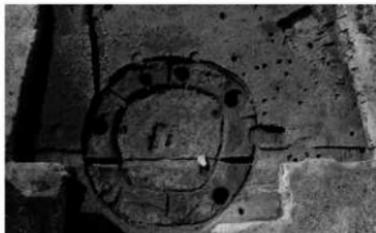


写真1 SB1 (円形部) 発掘状況 (東上空より)



写真2 SB1 発掘状況 (北より)

こさか 小坂遺跡5次調査

所在地	松山市小坂二丁目 466 番 1 の一部外 (包蔵地No.110)
期間	平成 19 年 5 月 16 日～同年 7 月 13 日
面積	約 550 ㎡
原因	緊急調査
備考	市道中村桑原線道路改良工事に伴う調査
担当	相原 浩二



図1 調査地理位置図

概要 調査地は、石手川左岸の扇状地上（標高 29.20 m）に立地する。周辺の遺跡には、小坂遺跡や小坂八斗敷遺跡など数次の調査が行われ、弥生時代から中世までの遺構・遺物が見つかっている。

調査地の基本層序は上から第Ⅰ層造成土（層厚 76cm）、第Ⅱ層耕作土（層厚 24cm）、第Ⅲ層灰色土（層厚 6cm）、第Ⅳ層黒灰色土（層厚 6cm）、第Ⅴ層茶褐色粘質土である。第Ⅳ層中からは、土器の小片が出土する。第Ⅴ層は地山と呼ばれる層である。遺構の検出は、第Ⅴ層上面で行った。

検出した遺構は竪穴住居 1 棟、土坑 1 基、柱穴 10 基、溝 1 条、自然流路 1 条である。出土遺物は弥生土器、土師器、須恵器、石器などが出土している。主な遺構は以下である。

竪穴住居（SB1）は、調査区の南西部で検出した。上部は削平されており、壁体は遺存していない。周壁溝とカマド跡だけの検出である。周壁溝は、北西部が途切れる。平面形は周壁溝の遺存状況より隅丸長方形を呈するものと考えられる。検出規模は、長軸 4.22 m、短軸 3.23 m、周壁溝の深さ 0.01 m～0.07 m を測る。遺物は、カマド燃焼部の窪地埋土より鉢の底部片が出土している。時期は、出土遺物が少なく明確ではないが古墳時代中期以降の住居と考える。

自然流路（SR1）は、調査区の中央部を南北に走る。複数の流路部をもち北方向に深くなる。南側は途切れている。遺物は弥生土器のほか、抉り入りの石錘が 1 点出土している。時期は、出土遺物より弥生時代後期には埋没したものであろう。

まとめ 今回の調査では古墳時代の竪穴住居 1 棟、弥生時代の溝や自然流路を検出した。竪穴住居は、その規模から小型の住居であった。古墳時代の竪穴住居は、調査地の北 200 m にある素鷺小学校遺跡より竪穴住居を検出しており、住居数は少ないが古墳時代中期～後期における集落の広がりを確認する事ができたのは大きな成果であった。



写真1 遺構検出状況<全景> (西より)



写真2 SB1 完掘状況 (北西上空より)

こさか 小坂遺跡 6次調査

所在地	松山市小坂二丁目95番1の一部 (包蔵地外)
期間	平成19年10月16日～同年12月27日
面積	511.61㎡
原因	緊急調査
備考	市道中村桑原線道路改良工事に伴う調査
担当	高尾和長・山之内志郎



図1 調査地位置図

概要 本遺跡は、松山平野東部に位置し、右手川左岸の標高30.40mに立地する。検出した主な遺構は、溝6条、性格不明遺構2基、柱穴100基である。遺物は遺構内と包含層から出土している。その遺物には、弥生土器、土師器(皿)、須恵器(甕形土器)、砥石がある。

[弥生時代] 溝(SD)2条を検出した。SD1は、調査区の北東部から南西部に位置する。規模は検出長21.0m、幅0.55m～1.20m、深さは北東部で35cm、南西部で15cm、溝底での高低差は10cmを測る。断面形態はレンズ状である。遺物は上層から下層で出土し上層からの出土が多い。出土した土器は弥生土器の甕形土器、壺形土器、鉢形土器、支脚形土器がある。SD2は、調査区の東部に位置し、東側はSD1と合流する。規模は検出長12.0m、幅0.9～1.8m、深さ35cm、溝底での高低差は11cmを測る。断面形態はレンズ状である。遺物は弥生土器の甕形土器、壺形土器、鉢形土器、支脚形土器がある。SD1と合流する地点からの出土が多い。SD1、SD2の時期は出土した弥生土器の形態より弥生時代後期末とする。

まとめ 今回の調査では、弥生時代と古墳時代の遺構を検出した。溝SD1・2は平成18年12月に調査が行われた小坂遺跡4次調査のSD2、SD3と同一の遺構であることが判明した。出土した遺物の甕形土器、壺形土器の形態は、4次調査出土遺物と同じく弥生時代後期末である。

今回の調査地から検出した溝SD1、SD2は4次調査地から検出された住居址を含む集落の、北側と西側を区画する溝のようなものと考えられる。調査区は包蔵地外に位置するが西側には包蔵地No.110釜ノ口遺跡、東側にはNo.83松枝遺物包含地があり、今後は、調査が行われていない調査区の北側と南側に広がると思われる集落の確認が必要と考えられる。



写真1 遺構完掘状況(東より)



写真2 SD1・2遺物出土状況(東より)

ほしおか 星岡遺跡 1次調査

所在地	松山市星岡1丁目630番1・634番1の 各一部（包蔵地№116）
期間	平成19年9月10日～同年10月9日
面積	約124㎡
原因	民間開発に伴う緊急発掘調査
備考	農業用倉庫の建設
担当	橋本雄一



図1 調査地理位置図

概要 本調査は、建物の基礎工事によって遺構が破壊される恐れのある場所に限定して行ったものである。調査地は、弥生時代から古代にかけての大規模な集落遺跡として知られている福音寺地区筋違遺跡の南、福音小学校構内遺跡の南西に隣接していることから、集落の辺縁部における様相が解明されるものと期待された。

限られた状況のもとでの調査ではあったが、弥生時代後期から古墳時代、古代にかけての遺構と遺物を多数検出した。主な遺構としては、竪穴住居を少なくとも6棟、掘立柱建物3棟、土坑4基、溝2条、柱穴120余基などである。

弥生時代の遺構としては、南部T3にて検出された方形の竪穴住居であるSB005があげられる。床面から後期後半頃の土器がまとも出土している。

古墳時代の遺構としては、T1南部とT2北西部の2ヵ所で確認された竪穴住居群と3棟の掘立柱建物とがあげられる。T2北西部で検出された竪穴住居群は古墳時代中頃以降のもので、周壁溝の存在から最低でも5棟が重複した状態にあることがわかっている。付近で検出された直径のわりに深さがある複数の柱穴については、これらの住居のうちのいずれかの主柱穴である可能性が高い。

T3で検出された掘立柱001は大型の建物の一部を確認したものである。直径1mほどの円形柱穴4基のうち2基においては礎盤石が置かれていた。柱は抜き取られている。全体規模は不明であるが、3間分で約5.2mに達していることから、かなり大型のものと考えている。時期は古墳時代後期である。

T2東部でも掘立柱建物を2棟検出している。このうち掘立柱002は、円形の黒褐色土を埋土とする柱穴で構成されるもので、古墳時代後期頃に所属するものと考えている。掘立柱002と平行の位置にある掘立柱003は、方形の明るい色調の灰褐色土を埋土とする柱穴で構成される建物である。顕著な遺物は出土していないが、隣接する久米官衙遺跡群を構成する建物の特徴と比較して新しい時期の特徴に該当することから、奈良～平安時代頃の役所の建物である可能性もある（写真1）。

まとめ 限定的な調査であったが、遺構密度の高い状態を確認することができた。福音小学校を中心とするこの遺跡群の範囲は、予想された以上に南へ広がることが確実となった。（橋本）



写真1 T2調査状況（北より）

ほしおか 星岡遺跡 2次調査

所在地	松山市星岡1丁目623番1の一部 (包蔵地No.116)
期間	平成19年11月1日～同年11月22日
面積	約58㎡
原因	国庫補助市内遺跡発掘調査事業
備考	農業用倉庫の建設に伴う本発掘調査
担当	橋本雄一



図1 調査地位置図

概要 本調査は、建物の基礎工事によって遺構が破壊される恐れのある場所に限定して国からの補助を受けて実施されたものである。調査地は、直前に調査が行われた同1次調査地の南東に接していることから、弥生時代から古代にかけての集落の広がりをより詳しく知ることができるものと期待された。

限られた状況のもとでの調査ではあったが、古墳時代後期頃を中心とする時期の遺構と遺物を多数検出した。主な遺構としては、竪穴住居を少なくとも4棟、掘立柱建物2棟、土坑3基、柱穴70余基などである。弥生時代と断定できる遺構は確認されていない。

コの字状に設定されたトレンチの北部中央付近で検出された遺構の密集地帯は、古墳時代の竪穴住居の集まりである。5本の周壁溝のない住居掘りかたに伴う段差を確認しているほか、主柱穴である可能性が高い柱穴も検出している。この箇所には、最低でも3棟以上の竪穴住居が重複しているものと考えている(写真1)。

東部で検出された竪穴住居SB001は単独で存在しているもので、一辺長約5.7m程度の隅丸方形であると想定している。滑石製の白玉が2点出土していることから、古墳時代中期以降に属するものと考えられる。

北東部では、2棟の掘立柱建物の一部を検出した。このうち、西寄りの掘立001は、3基の方形柱穴が東西に配置されており、南北棟の妻側柱列を検出したものである。復元される柱間は梁行2間で約3.3m(1間5.5尺の等間)を測る。これと同様に方形柱穴で構成される建物が西隣の1次調査地北部で検出されているが、ともに方位は真北から西へ8度ほど振っている。柱穴の埋土は、1次の掘立003ほど明るい色調ではないが、これも古墳時代終末段階から8世紀頃にかけての官衙関連施設に伴う建物である可能性も考えられる。

まとめ この地点における遺構の分布密度とその内容については、西隣の同1次とはほぼ同様であった。幅が1.4mに満たない規模の調査であったため、検出された柱穴の多くについて特段の評価を行うには至らなかったが、それでも1次と同様、明確に掘立柱建物の存在を知り得た状況は、付近における建物密度がいかに高いものであるかを示す結果であると評価している。(橋本)



写真1 竪穴住居群(北より)

にししい 西石井遺跡 4 次調査

所在地	松山市西石井 1 丁目 79 番 1 の一部 (包蔵地№ 119)
期 間	平成 19 年 5 月 16 日～同年 6 月 15 日
面 積	135 m ²
原 因	緊急調査
備 考	宅地造成工事に伴う調査
担 当	高尾和長・山之内志郎



図 1 調査地位置図

概 要 申請地は松山平野の南部に位置し、石手川の支流である小野川と重信川の支流である内川に挟まれた沖積低地上の標高 21 m に立地する。検出した主な遺構は、竪穴式住居址 5 棟、溝 2 条、性格不明遺構 3 基、柱穴 84 基である。遺物は遺構内から出土している。その遺物には、弥生土器（甕形土器、壺形土器、高坏形土器）、土師器（甕形土器、高坏形土器、坏、皿）、須恵器（甕形土器）がある。遺構の帰属時期は、出土遺物を基準として 3 期に大別される。Ⅰ期は、弥生時代後期、Ⅱ期は古墳時代前期、Ⅲ期は中世に大別でき、弥生時代後期に帰属する遺構が多い。

[弥生時代] 竪穴式住居址 (SB) 4 棟、性格不明遺構 (SX) 2 基を検出した。

SB201 は内部施設に周壁溝と炉を検出した。周壁溝は西側の壁下で検出した。炉は調査区の南東隅に位置し南側は調査区外に続く。平面形態は楕円形と思われる。規模は 88cm、深さ 15cm を測る。出土遺物は弥生土器、焼土、炭化物がある。時期は出土遺物から弥生時代後期末とする。

[古墳時代] 竪穴式住居址を 1 棟検出した。SB202 の平面形態は方形と思われる。内部施設は周壁溝が壁下に位置する。出土遺物は土師器の甕形土器、高坏形土器と焼土、炭化物がある。時期は出土遺物の甕形土器の形態から古墳時代前期とする。

[中世] 柱穴を 75 基検出した。埋土は灰黄褐色土で出土遺物は土師器の皿、坏が出土している。

まとめ 本調査地からは、弥生時代後期、古墳時代前期、中世の遺物と遺構を検出した。検出した遺構は、弥生時代後期末と古墳時代前期の竪穴式住居址 2 棟が注目される。

SB201・SB202 の 2 棟は、遺物の出土状況と焼土、炭化物の検出状況から火災を受けた住居の可能性が考えられる。また、竪穴式住居址 5 棟を検出したことにより、今まで判明していなかった石井地区北部にも、弥生時代から古墳時代までの集落が存在していたことが明らかとなった。



写真 1 遺構完掘状況 (北より)

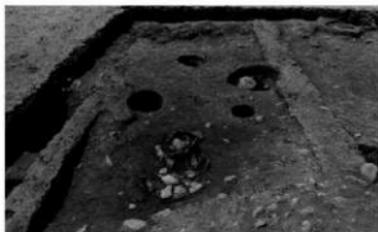


写真 2 SB201 遺物出土状況 (北より)

きたくめ
北久米遺跡7次調査

所在地	松山市北久米町 459 番 1 の一部 (包蔵地№126)
期 間	平成 19 年 4 月 16 日～同年 6 月 15 日
面 積	約 280 m ²
原 因	緊急調査
備 考	共同住宅の建築に伴う調査
担 当	吉岡和哉



図1 調査地位位置図

概要 1区では溝状遺構(SD1)を1条検出し、2区では柱穴473基(掘立柱建物跡3棟)、土坑17基、溝状遺構1条、堅穴状遺構(SB)を3基を検出した。SD1は検出長が約18.3m、深さは12～34cmを測り、東西にのびる。出土遺物には土師質土釜、底部に回転糸切痕を有する土師質の杯、東播系こね鉢、備前焼の甕等がある。掘立1は棟行2間(約4.3m)×桁行3間(約6.6m)を測る。出土遺物には底部に回転糸切痕を有する土師質の杯、土師質土釜、東播系こね鉢等がある。掘立2は棟行2間(約4.2m)×桁行2間以上を測る。出土遺物には青磁碗口縁部小片、土師質の杯等がある。掘立3は棟行2間(約4.2m)×桁行2間以上を測る。出土遺物には須恵質の甕、底部に回転糸切痕を有する土師質の杯等がある。SB1は掘立2の内部にて検出した隅丸長方形の堅穴状遺構で、規模は南北方向に約3.3m、東西方向に約2.7m、深さは約10cmを測る。床面をほぼ水平に形成しており、貼床、周壁溝、被熱痕跡等は確認できなかった。出土遺物には土師質土釜、砥石、底部に回転糸切痕を有する土師質の皿等がある。出土遺物の特徴及び、内部に屋根を支える柱穴等を確認できなかったこと等より、掘立2の内部施設である可能性が高い。

まとめ 12世紀末から14世紀後半頃に営まれた集落跡を確認することができた。SD1は埋土の堆積状況及び出土遺物、方向、位置等より近隣の調査で確認している溝状遺構(南久米町遺跡2・3次調査:SD1、同4次調査:SD10)と同じ性格を有する可能性が高い。また、掘立2は内部に堅穴状の施設(SB1)をもつ可能性が高く、掘立柱建物の内部構造や機能を考える上で貴重な資料が得られた。

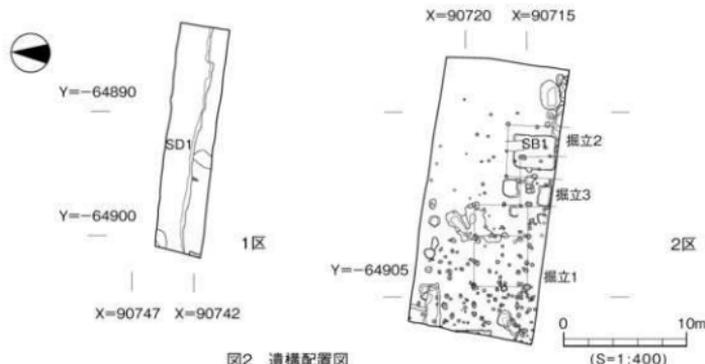


図2 遺構配置図

南久米町遺跡5次調査

所在地	松山市南久米町 462 番の一部 (包蔵地№126)
期間	平成 19 年 7 月 23 日～同年 9 月 14 日
面積	約 477.36 ㎡
原因	緊急調査
備考	宅地造成工事に伴う調査
担当	高尾和長・山之内志郎



図1 調査地位置図

概要 申請地は松山平野南西部に位置し、小野川中流右岸の小野扇状地と石手川扇状地との間に形成された洪積台地上の標高 35 m に立地する。検出した主な遺構は、掘立柱建物址 1 棟、土坑 5 基、溝 9 条、性格不明遺構 3 基、柱穴 84 基である。遺物は遺構内と包含層から出土し、弥生土器（甕形土器、壺形土器）、土師器（甕形土器、高坏形土器、坏、皿）、須恵器（坏、甕形土器）、瓦がある。遺構の帰属時期は、出土遺物を基準として 3 期に大別される。Ⅰ期は、弥生時代前期末～中期初頭、Ⅱ期は古代、Ⅲ期は近代に大別でき、古代に帰属する遺構が多い。

〔弥生時代〕性格不明遺構（SX）1 基を検出した。規模は検出長南北（5.03）m、東西（8.88）m、深さ 74cm を測る。上層から須恵器、土師器が出土し、下層から弥生時代前期末～中期初頭の甕形土器、壺形土器、砥石、敲石、鉄滓が出土した。時期は出土した遺物から掘削時期は弥生時代前期末～中期初頭とする。

〔古代〕掘立柱建物址（掘立）を 1 棟検出した。規模は 2 間×3 間の東西棟である。棟行 5 m×桁行 8 m を測る。柱穴の平面形態は円形である。規模は径 56～110cm、深さ 6～28cm を測る。出土遺物は土師器坏、須恵器、陶磁器、弥生土器がある。時期は出土した遺物の形態より 10 世紀とする。

まとめ 本調査では弥生時代前期末から中期初頭、古代、中世の遺物と遺構を検出した。検出した遺構は、土坑、掘立柱建物址、出土遺物の軒丸瓦が目目される。SX1 の検出からは、堀越川北側での弥生時代前期末～中期初頭の集落の存在を示す資料であり、来住台地で検出されている土坑や溝との関係を考える良好な資料である。掘立柱建物址からは、建物の廃絶時に行われた祭祀行為が確認できた。

また、単弁十葉蓮華文軒丸瓦出土からは、来住台地上に位置する久米官衙遺跡群と堀越川を隔てた南久米町遺跡の掘立柱建物群、掘立柱建物址出土の墨書土器との関係を考える上で貴重な資料である。



写真1 SX1 検出状況（北より）



写真2 土坑内遺物出土状況（北より）

くめたかばたけ 久米高畑遺跡 69 次調査

所在地	松山市来住町 9 1 1
期間	平成 19 年 8 月 1 日～同年 10 月 31 日
面積	419 m ²
原因	重要遺跡確認調査
担当	小笠原 善治



図 1 調査地位位置図

概要 近年、来住台地上に存在する官衙関連主要施設南西部の様相を確認する調査を継続して行っており、今回の調査は久米官衙遺跡群の中でも主要な遺構である、回廊状遺構西方の様相を確認することを目的に行った。遺構は、掘立柱建物跡 7 棟、竪穴式住居址 4 棟、土坑 18 基、溝 2 条、柱穴 400 基以上、性格不明遺構 2 基を検出した。遺構の時期は弥生時代から古墳時代、古代、中世と各期に渡る複合遺跡である。

掘立柱建物址のなかでも、掘立 4 は、東西 5.8 m、南北 3.75 m で、南北 2 間、東西 2 間以上の規模で、東西に展開すると考えられる。柱掘方はほぼ方形で、埋土は褐色～黒褐色である。柱穴は、大型とは言えないがしっかりと掘られている印象がある。建物の方向はほぼ正方位で、真北から約 5° 程度東に振れる。遺構の性格を決定づける遺物等は多く出土していないが、おそらくは雑舎的な建物ではないかと考えている。そのほか、弥生時代前期末から中期初頭の方形土坑や弥生時代の円形竪穴式住居跡などを確認した。SK8 からは、弥生時代前期でもやや古手の土器が出土している。また、中世の柱穴 SP116 からは、13 世紀以降の土師皿が柱穴内で垂直に立てられた状態で見つまっている。おそらく地鎮などの柱穴内祭祀を行ったものと考えられる。

今回の調査では、回廊状遺構の西での有力な官衙施設の確認には至らなかったが、官衙関連施設としては本調査地まで展開する状況を示す資料が得られた。そのほか、SK8 などは、周辺に所在する縄文時代晩期前半、弥生時代前期末から中期初頭の環濠などの遺跡につながるものとも言えよう。中世では、柱穴内祭祀行為を示す事例は、周辺に中世集落が存在する可能性があることを示すものであり、当地周辺の縄文時代から中世までの様相を知る資料が得られた。

(小笠原)



写真 1 調査地全景 (南東より)



写真 2 掘立 4 全景 (西より)

く め た か ば た け 久米高畑遺跡 70 次調査

所在地	松山市南久米町 704 の一部 (包蔵地№ 127)
期 間	平成 19 年 10 月 1 日～同年 10 月 31 日
面 積	約 49 m ²
原 因	緊急調査
備 考	共同住宅建設工事に伴う調査
担 当	山之内志郎



図 1 調査地位位置図

概 要 本調査は、松山平野南東部の来住台地上に立地した弥生時代から古代における集落の構造解明を主目的として実施した。その結果検出した遺構は、竪穴式住居跡 1 棟、溝 1 条、土坑 4 基、柱穴 26 基である。

SD1 は検出長 5.05 m、上場幅 3.05 ～ 3.10 m、残存深 100cm、断面形態が逆台形状を呈する溝である。北東-南西方向に長く伸び、北部及び南部は調査区外へ続いている。埋土は 7 層に分層でき、溝内部からの遺物は弥生土器のほか石製品が多量に出土した。溝の埋没年代は、土器の年代から弥生土器前期末～中期前葉と考えられる。SB1 は西側を未検出であるが、平面形態は方形を呈するものと考えられ、規模は南北 5.1 m、東西検出長 3.8 m、深さ 10 ～ 15cm を測る。住居北西部にのみ貼床を検出した。内部施設は、主柱穴と周壁溝を検出した。出土遺物は土師器、須恵器、石製品、鉄製品がある。住居の埋没年代は、土器の年代から 6 世紀後半と考えられる。

遺物は、これらの遺構外からも弥生土器、土師器、須恵器、石製品などが出土している。

まとめ 本調査では、主に弥生時代前～中期及び古墳時代後期の遺構と遺物を確認することができた。そのうち SB1 は、古墳時代後期に比定されるもので、来住台地上で当該時期において集落が成立していたことを示す重要な資料である。また SD1 は、過去に久米高畑遺跡 25 次・55 次調査などにおいて検出している溝につながるものと考えられ、溝で囲まれた内部（東西・南北方向約 100 m）に大規模な集落の存在が考えられる。

今後は周辺域における調査を進めることにより、更に弥生時代～古代集落の構造とその変遷の解明を進めていきたい。



写真 1 SD1 遺物出土状況 (北より)



写真 2 調査地上空より来住台地を望む (東より)

きしはいじ 来住廃寺 34 次調査

所在地	松山市来住町 850 の一部
期間	平成 19 年 5 月 14 日～同年 8 月 10 日
面積	約 158 ㎡
原因	重要遺跡確認調査
備考	来住廃寺講堂跡推定地
担当	岸見泰宏（文化財課）



図1 調査地位位置図

概要 調査地は、金堂基壇の北東側にあたり、1・3次調査で講堂と推定された場所にあたる。来住廃寺及び久米官衙に関連する遺構としては、瓦廃棄土坑と溝を確認した。瓦廃棄土坑は2基確認されており、多量の瓦が出土したほか10世紀の土師器碗がまとめて出土している。来住廃寺では、平安期の軒瓦が出土しており、このころに葺き替えが行われた後、中世には廃絶したと考えられているが、これらの土坑はこの葺き替え時に掘削されたものである可能性が高い。次に、金堂基壇の北側で溝状の遺構が確認された。東西幅2.4m、南北長2.5mを検出したが、さらに南北に延伸する。埋土からは奈良時代の軒丸瓦を含む大量の瓦が出土しており、溝の底部から西側の立ち上がり部分には直径30cm、深さ5cm程度の小土坑が南北に並んでいる。一部では20～30cm程度の石が据えられた状況が確認されたことから、溝の護岸である可能性もある。

近世の遺構としては、長隆寺本堂の一部と西側からこれに取り付く参道及び土塀基礎を確認した。本堂の礎石は0.6～1m四方の大型の砂岩であり、これまでは来住廃寺講堂のものと考えていたが、今回土層を確認したところ、近世の盛土上部より掘り込まれた土坑内に据えられていることが判明した。ただし岩質や大きさは、金堂基壇の礎石と非常によく似ていることから、古代の礎石が近世に再利用された可能性が高い。次に土塀基礎は、3次調査時に講堂の玉石組雨落溝が検出された箇所と同じ位置であり、当時は狭小な調査であったことから、これを雨落溝と誤認していたことが明らかになった。また、周囲には黄色粘土と暗褐色土による造成土層が広がっており、基壇構築土とされたが、近世瓦を包含することが判明したため、これらについても誤認である可能性が高まった。



写真1 調査完了状況（北西より）



写真2 溝状遺構遺物出土状況（北東より）

ひらい 平井遺跡 6次調査

所在地	松山市平井町甲 3074 - 1 外
期間	平成 19 年 6 月 1 日～同年 8 月 31 日
面積	1,283.86 m ²
原因	緊急調査
備考	市道小野 160 号線道路改良工事に伴う調査
担当	宮内 慎一



図1 調査地位置図

概要 本調査は松山平野南東部、小野川と堀越川とによって形成された扇状地の南西端、標高 57.3 m に立地する。調査地周辺では古市遺跡や下苜屋遺跡などのほか、小野 160 号線関連の調査（平井遺跡 3 次～5 次調査）が実施され、縄文時代晩期から中世までの集落遺構や遺物が確認されている。調査で検出した遺構は弥生時代から古代までのもので、掘立柱建物 8 棟（古墳）、溝 3 条（古墳）、土坑 18 基（弥生：7 基、古代：3 基、時期不明 8 基）、柱穴 104 基、倒木痕 8 基である。遺物は遺構及び包含層〔灰褐色土：古代、黒褐色粘質土：古墳、茶褐色粘質土：弥生〕内より弥生土器、土師器、須恵器、石器が出土した。

【弥生時代】 弥生時代では、土坑 9 基〔前期末：3 基、中期後半：3 基、後期後半：3 基〕を検出した。このうち、前期末の土坑には断面形態が筒状または袋状を呈するものがあり、貯蔵穴として使用された可能性がある。

【古墳時代】 古墳時代では、掘立柱建物 8 棟、溝 3 条を検出した。掘立柱建物は柱穴出土遺物より古墳時代後期前半以降に建てられたもので、最大規模の建物は 3 間（4.95 m）× 4 間（8.53 m）、床面積 44.2 m² を測る。このほか、2 間×3 間規模の総柱建物 1 棟や、1 間×1 間規模の小型建物 6 棟は、倉庫的な性格をもつものと考えられる。

【古 代】 古代では、土坑 3 基を検出した。直径 1 m、深さ 20～40cm を測る円形土坑で、土坑内からは平安時代中期に時期比定される土師器のほか、焼土や炭化物を検出した。

まとめ 今回の調査により、調査地や周辺地域には古墳時代を中心とした集落が広く展開していることがわかった。今後は平井地区における集落構造や変遷、さらには評価について解明していく必要がある。



写真1 調査地全景（南より）

ひらい 平井遺跡7次調査

所在地	松山市平井町甲 3115の一部、甲 3117の一部
期間	平成 19年 9月 18日～同年 11月 30日
面積	744.78 m ² (7,274 m ²)
原因	緊急調査
備考	市道小野 160号線道路改良工事に伴う調査
担当	河野 史知



図1 調査地位位置図

概要 本道跡は松山平野東部を西流する小野川と堀越川によって形成された扇状地上の標高 55 m前後に立地する。本調査では弥生時代前期から中世にかけての遺構や遺物を検出した。遺構には、竪穴式住居址 1棟、掘立柱建物址 4棟、溝 6条、土坑 6基、柱穴 127基、性格不明遺構 3基がある。遺物は、遺構内から弥生土器（甕・壺）、土師器（甕・甔・椀・皿）、須恵器（蓋環・坏身・甕・甕）、陶器（播鉢）、石器（石鏃・砥石）が出土した。

〔弥生時代〕 調査区南側の緩斜面上にて溝・土坑・性格不明遺構を検出し、前期の土器が出土した。SK4は平面形が方形で床面が平らな掘り方であり、南北隣の 5・6次調査でも土坑や性格不明遺構を検出していることから周辺には前期頃の集落が展開していたことが窺える。〔古墳時代〕 後期頃の竪穴式住居址や掘立柱建物址・溝・土坑を検出した。掘立柱建物址は西側において 4棟が真北を意識した東西棟と南北棟で構成されており、掘立 1・3・4は内側の桁柱の間隔が外側のものに比べ約 2倍長い構造をもつ。SD3と SD4からは甕が出土しており、SD3から出土した甕の頸部からは欠失しており、人為的に打ち欠かれたものをうづ伏せに掘え祭祀的な行為と考えられる。〔中世以降〕 SK7からは多数の礫と一緒に土師器の坏が出土しており、廃棄土坑と考える。

まとめ 今回の調査により、周辺に展開する集落の南端が 5次調査で北端が 6次調査の微高地上となり、南北規模が約 100 mであることがわかった。竪穴式住居址や掘立柱建物址は南側に集中しており、遺構の密度から集落の中心は南隣の 5次調査付近が想定できる。掘立柱建物址は東西棟、南北棟ともほぼ直角方向に建てっており、5次調査の北側、6次調査の南側にも同方向を指向するものがあることから集落の中央部付近でこれらの掘立柱建物址は構成されていたことがわかった。今後の課題として、この集落の東西方向の広がりを周辺の調査において解明する必要がある。



写真1 遺構完掘状態 (北より)

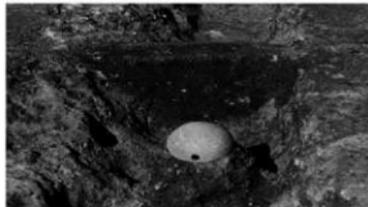


写真2 SD4 遺物出土状況 (南より)

みどろ 水泥遺跡 4 次調査

所在地	松山市水泥町 485 外
期 間	平成 19 年 2 月 15 日～同年 5 月 31 日
面 積	約 1,293 ㎡
原 因	緊急調査
備 考	市道小野 202 号線道路新設工事に伴う調査
担 当	水本完児・宮内慎一



図1 調査地位位置図

概 要 本調査地は松山平野南東部、標高 51.27～52.42 m に立地する。申請地周辺では、調査地北西側に平井遺跡 1・2 次調査と水泥遺跡 1・2 次調査、南西側に水泥遺跡 3 次調査、高井遺跡、南高井遺跡 2・3 次調査があり、弥生時代から古墳時代までの集落関連遺構や遺物のほか、古代から中世までの生産遺構などが確認されている。基本層位は、第Ⅰ層水田耕作土、第Ⅱ層水田床土、第Ⅲ層明灰色砂質土、第Ⅳ層灰褐色土、第Ⅴ層灰褐色粘質土、第Ⅵ層地山である。第Ⅱ層上面で近代の遺構と遺物を確認し、第Ⅲ層及び第Ⅴ層上面で近世の遺構と遺物を確認した。検出した遺構は水田遺構 15 枚、鋤址状遺構 61 条、溝 15 条、自然流路 3 条、土坑 5 基、柱穴 9 基、性格不明遺構 1 基、暗渠 3 基である。近代の遺構は溝 1 条、その他は、すべて近世の遺構である。遺物は、土師器、須恵器、陶磁器が第Ⅲ層及び第Ⅴ層中より出土した。1 区では、第Ⅳ層下面で水田遺構 15 枚を検出した。規模は検出長 2.5～7.95 m、検出幅 0.75～3 m、深さ 2～5 cm、畦畔は幅 24 cm～62 cm を測る。埋土は灰褐色粘質土に砂が混じるものである。遺物は出土しなかったが、2 区検出の SR1 自然流路の埋土と同じであるため、水田遺構の時期は、概ね近世と考えられる。

まとめ 調査では近世から近代の遺構と、弥生時代から近世までの遺物を確認することができた。弥生時代から中世の遺構は未検出であるが、トレンチや表採資料の中に、該期の遺物が少量ではあるが含まれていることから、調査地周辺には少なくとも該期集落が存在することを示唆するものである。以上、今回の調査では調査地が近世段階には水田や畑などの生産域として、土地利用されていたことがわかってきた。今後は、調査地周辺の遺跡との関係を検討し、弥生時代から古代までの集落範囲や構造、さらには、生産域の範囲を究明しなければならない。(水本)



写真1 1区畦畔検出状況(西より)



写真2 2区SR1 発掘状況(西より)

みどろ 水泥遺跡5次調査

所在地	松山市水泥町 431 の一部
期間	平成 19 年 7 月 17 日～同年 9 月 28 日
面積	約 763 ㎡
原因	緊急調査
備考	市道小野 203 号線道路新設工事に伴う調査
担当	水本完児・宮内慎一



図1 調査地位位置図

概要 本調査地は松山平野南東部、標高 49.64～50.66 m に立地し、水泥遺跡 4 次調査の西隣に位置する。調査地の基本層位は、第 I 層から第 X 層までの 10 層である。第 I 層近現代の耕土及び造成土、第 II 層水田床土、第 III 層暗灰色粘質土、第 IV 層明褐色土、第 V 層灰褐色土、第 VI 層灰オリブ砂質土、第 VII 層褐色土、第 VIII 層灰褐色土、第 IX 層明黄灰褐色砂質土、第 X 層明黄褐色土である。検出した遺構は溝 2 条、自然流路 1 条、畝溝 3 条、土坑 2 基、柱穴 14 基である。遺物は、第 III 層上面で土師器片と磁器片が出土し、第 X 層上面では須恵器片や土師器片が出土した。

【古代】 古代の遺構は、第 X 層上面にて土坑 2 基、柱穴 14 基を検出した。時期決定しうる遺物の出土はないが、層位よりこれらの遺構は概ね古代のものと推測される。なお、柱穴は建物を構成するまでには至らなかったが、近隣地域には古代集落に関連する建物が存在する可能性がある。

【中世】 中世の遺構は、第 VII 層上面にて畝溝 3 条を検出した。古代と同様時期決定しうる遺物の出土はないが、検出層位や第 VII 層出土遺物などから概ね中世段階の遺構と推測される。このことから、調査地が中世段階に稲作または畑作等の生産域として利用されていたことがわかった。

【近世】 近世の遺構は、第 III 層上面にて溝 2 条、自然流路 1 条を検出した。溝はほぼ直線的に掘削されており、水田耕作等に関連する遺構の可能性がある。なお水泥遺跡 4 次調査において近世段階の水田址や畑址が検出されていることから、これらの遺構に伴う可能性が高いと考えられる。

まとめ 今回の調査では、水泥遺跡 5 次調査における古代から近世までの集落や生産域の存在を推測される資料を得られた。今後は、調査地周辺の遺跡との関係を検討し、古代から近世までの集落範囲や構造、さらには生産域の範囲を究明しなければならない。(水本)



写真1 遺構完掘状況(北西より)



写真2 2区畝溝検出状況(東より)

みどろ 水泥遺跡6次調査

所在地	松山市水泥町487-2の一部外 (包含地№142)
期間	平成19年10月1日～平成20年2月29日
面積	507㎡
原因	緊急調査
備考	市道小野202号線道路改良工事に伴う調査
担当	相原秀仁・宮内慎一



図1 調査地位置図

概要 本調査は、小野202号線道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査である。調査地は松山平野南東部、標高53.00～56.40mに立地する。調査地の周辺では、西側に水泥遺跡1～4次調査地、北西側に平井遺跡1・2次調査地、南西側に高井遺跡、南高井遺跡2・3次調査地があり、弥生時代から中世までの集落関連遺構や縄文時代晩期から中世までの遺物が確認されている。【弥生時代～古墳時代】弥生時代や古墳時代の遺構は未検出であるが、包含層中から弥生時代後期や6～7世紀代の遺物が少量ではあるが出土した。本層は調査地内に部分的にみられるものであるが、調査地東側では比較的堆積が厚く、当時の生活面が調査地東方周辺に安定して存在しているものと思われ、集落が展開している可能性がある。【古代】古代の遺構は、1区にて溝1条、2区にて土坑1基を検出した。溝からは飛鳥時代後半、土坑からは奈良時代の遺物が出土した。調査地西方にある水泥遺跡や高井遺跡において、古代の建物址や水田跡がみつかり、本調査地を含む周辺域に古代集落が営まれていたものと推測される。【近世】近世の遺構は1区と2区で、水田遺構16枚、鋤跡状遺構145条、溝5条、土坑2基、ピット1基を検出した。水田は、2区で畦畔を検出した。水田は比較的小規模な方形区画を呈しており、これは、近世の水田形状や規模を知るうえで重要な資料となる。そのほか、1区でも水田に伴う鋤跡が検出され、調査地内に近世段階の水田が営まれていたことが判明した。

まとめ 今回の調査では、水泥遺跡4次・5次調査で検出した中近世の水田跡や畑跡の範囲が東側に広がることがわかった。このことから中世から近世まで賑々と水田や畑経営がおこなわれたものと考えられ、調査地一帯が長期間に渡り生産域として土地利用されていたことがわかった。



写真1 2区畦畔検出状況(西より)



写真2 1区鋤跡完掘状況(東より)

はごいけ
葉佐池古墳 5 次調査

所在地	松山市北梅本町甲 2455 番の一部
期間	平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日
面積	約 500 m ²
原因	国庫補助事業重要遺跡確認調査
担当	栗田茂敏・栗田正芳



図1 調査地位図

概要 平成 17 年度から実施している墳丘確認調査の最終年度である。17 年度の 3 次調査、18 年度の 4 次調査の結果、墳丘が松山市有地を越えて南の墓地まで達する可能性はほぼなくなり、当初推定されていた規模よりも小さくなるものと考えられた。このため、5 次調査では市有地内での盛土残存状況を面として把握するための全域にわたる墳丘面の精査を行うとともに、既存のトレンチ追試等も必要に応じて実施した。その結果、盛土は丘陵南側よりも北側に多く残り、最も残っている東北部で、その遺存端は標高にして 115.25 m 付近まで及ぶことが確認された。丘陵の東西斜面の現況は、西では丘陵麓まで急勾配の斜面が続き、およそ墳端と認定できるような傾斜の変換点はなく、また東では当初くびれとしていた 112 m レベルまで降りてはじめて変換点を見出せる状況となっている。これに対して南北では、およそ 114.75 ～ 115 m のレベルでさらかな傾斜変換がある。当初の前方後円形推定は、これらの変換点レベルのうち、東の変換点レベルを重視し、この地点におけるくびれ状の地山形状をとった結果であった。南北の傾斜変換点に関しては、北をそのまま後円部墳端にとり、南は墳丘内での削平により墳形が改変された結果の傾斜変換としてこれをとらず、墳端をさらに南方に推定し、全体として基底面南下がりの前方後円形を想定していたのであった。しかし、3・4 次調査においてこれらの推定根拠に肯定的な結果が得られなかったことを受け、最終的に墳端についてはおよそレベルの揃った現況での南北の傾斜変換点をとるのが最も合理的と判断するに至った。これに基づき、5 次調査では 115 m をめぐるコンターライン付近を墳端と想定し、このライン付近を重点的に精査して盛土、地山の状況をチェックした。この結果、墳丘中ほどより南は主に地山露出、また、前述のように北側は盛土が多く残った状態で、ラインの出入りなくコンターが巡る結果となり、墳形は長径 40 m、最大幅 24 m の南北に長い不整形円形と判断した。その築造工程は次のとおりである。当初から楕円形平面を意図した墳丘は、北側の 2 号石室を中心にしてその南北に 3 号・5 号石室を配置して盛土を行い、南側では 4 号石室を中心とした盛土を施し、この盛土南端付近に馬の下顎骨を埋置する。平面楕円形、側面観双丘状の墳丘が一旦完成した後、いずれかの段階で 4 号石室を廃棄、その北直近に 1 号石室を築造し、南北の谷間を埋めて最終的な現在の葉佐池古墳の姿となったと考えられる。

まとめ 葉佐池古墳の墳丘形態は前方後円形ではなく、ひとまわり小さい楕円形ということになった。しかし、それでもこの時期、6 世紀中葉から後半の当地の古墳としては最大クラスの墳丘を持つ古墳であり、突出した位置にあることにはかわりはない。また、今回の調査では、その墳丘築成過程についても新たな知見を得ることができた。松山平野は、一墳丘に複数の石室を持つ古墳が際立って多いことが、かねてより指摘されている地域である。今後、これらの古墳を研究するうえでの好事例となっ

たとともに、この種の古墳の分布や、内容等の詳細な比較検討を行うことによって、この古墳の持っている地域における歴史的な位置づけが可能になるものと期待される。(栗田)

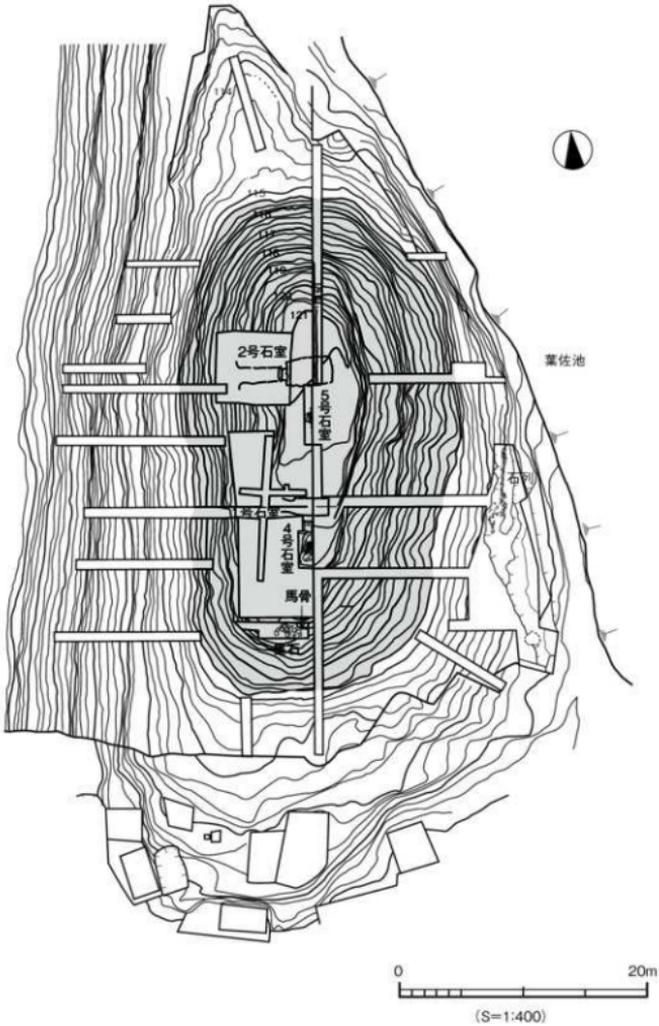


図2 墳丘平面図

Ⅱ 平成 19 年度
松山市埋蔵文化財調査関係資料

松山市埋蔵文化財調査関係資料

例言

1. 本編は、松山市教育委員会事務局文化財課・(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査及び本発掘調査資料である。
2. 埋蔵文化財確認調査は平成19年度(申請番号1～330号)、平成19年4月1日～平成20年3月31日受付迄の資料を取り扱う。なお、平成18年度以前の資料については、「埋蔵文化財調査年報Ⅰ～Ⅹ(昭和60～平成9年度)、同年報Ⅺ～ⅲ(平成10～18年度)」を参照されたい。
3. 資料作成(一覧表・付録図)は、重松佳久、高尾和長、山本健一、武正良浩、國田克彦、浅井茂之、武智洋明が行った。
4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認願いの申請番号に順するものである。また、本発掘調査については、平成19年度に行った調査を取り扱う。
5. 付録図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(伊予北条・三津浜・松山北部・郡中・松山南部)を使用し、8万分の1の縮尺で記載した。
6. 一覧の略記について
①標高：地表面、()は調査地内平均値。②調査目的：公＝施主公共団体、私＝施主一般。
③調査方法：空白は未調査等。④緊急：記録保存を目的とした調査。国補：国庫補助事業調査。

埋蔵文化財の保護について

文化財は、わが国の歴史・文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであり、かつ将来の文化の向上、発展の基礎をなすものです。それら文化財の保存・活用による国民の文化的向上を目的として昭和25年に制定された文化財保護法には、国民の心構えとして、「政府及び地方公共団体がこの目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない」こと、「文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに、その文化的活用にも努めなければならない」ことが記されています。また同時に政府及び地方公共団体は、関係者の所有権その他の財産権を尊重しなければならないこととなっています。

●周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出および確認調査について

埋蔵文化財包蔵地とは、貝塚、古墳、城跡等とはより、土師片等の地表面での散布が認められる場所(散布地)、並びに土中での包含が認められる場所(包含地)をいいます。

埋蔵文化財は、建造物等の他の文化財と違って主に地下に存在するため、土木工事等による破壊を免れない場合があります。そのため、地図(註1)に示された「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事等を行う場合は、60日前までに愛媛県教育委員会への届出が義務付けられています。また、その届出に伴い埋蔵文化財の有無を確認するための調査(踏査、試掘等)を行いますので、土木工事等の計画がある場合は事前に松山市教育委員会文化財課へご相談ください。

註1. 地図(松山市埋蔵文化財包蔵地図)は、市教委文化財課にて配布しております。

旧松山市域包蔵地

- | | | | | |
|-----------------|---------------------|-----------------|--------------|-----------|
| 1 お稲荷さん古墳 | 2 天の神様古墳 | 3 じんうわ古墳 | 4 大池古墳 | |
| 5 御手洗遺跡 | 6 赤子谷山古墳 | 7 坂波古墳 | 8 せいじ坊古墳 | |
| 9 のほりや山古墳 | 10 片廻遺跡(弥生時代)太山寺古墳群 | 片廻古墳群 | 素鷲神社 | |
| 11 石風呂町遺物包含地古墳群 | 岩木山古墳群 | 12 和気支所遺物包含地 | 13 高山遺跡 | |
| 14 梅津寺古墳群 | 15 三光岡地遺跡 | 16 船ヶ谷古墳群 | 北山古墳群 | 17 東山町古墳群 |
| 18 久万ノ台古墳群 | 久万ノ台遺物包含地 | 19 衣山遺跡、衣山古墳群B、 | 東仙寺古墳群 | |
| 20 水塚古墳 | 21 衣山古墳群、うまや古墳・ | 遺物包含地 | 22 山西遺物包含地 | |
| 23 忽那山古墳群 | 24 弁天山古墳群 | 鯛崎遺物包含地 | 25 生石八幡神社古墳群 | |

松山市埋蔵文化財調査関係資料

25 南斎院遺跡	27 津田古墳群・遺物包含地	28 八反地遺跡
29 北斎院遺物包含地	30-① 御産所古墳群①	31 岩子山遺跡・古墳群
32 大峰ヶ台遺跡A 大峰ヶ台古墳群A	30-② 御産所古墳群②	33 大峰ヶ台遺跡B 大峰ヶ台古墳群B
34 朝美町遺跡	35 古廻遺跡	36 正水遺跡
37 南江戸町遺跡	38 北谷・権現山遺物包含地・古墳群	39 ろうそく山古墳
40 堂ヶ谷古墳	41 瀬見古墳群・遺物包含地	42 大久保山古墳
44 みのこし遺跡	45 姫原古墳群	46 長建寺古墳
48 御幸寺山古墳群	49 長谷遺跡	47 横谷丸塚古墳
52 瀬戸風崎古墳群	50 祝谷古墳群	51 山田池(祝谷)遺物包含地
56 緑台遺物包含地	53 土居の段遺物包含地	54 常信寺山古墳群
60 冠山遺跡	57 土居窪遺物包含地	55 北代遺物包含地
64 石手寺古墳第2号	61 義安寺遺物包含地	58 桜谷古墳群
68 今市遺物包含地	65 永米谷古墳群	59 桜谷本尊古墳
72 持田遺物包含地	66 水口遺跡	63 石手寺古墳第1号
76 勝山古墳	73 堀ノ内遺物包含地	67 文京遺跡(樋又遺跡・元練兵場遺物包含地)
80 東野池古墳群	77 御塚古墳	71 土器堀(おつかり)遺物包含地
84 経石山古墳	81 柳味遺物包含地	75 寺山古墳
88 桑原古墳群	85 三島神社古跡	79 お茶屋台古墳群
92 たんち山古墳	89 芝ヶ崎古墳群	83 枝松遺物包含地
95 大門遺物包含地・古墳群	93 鷹ノ子古墳 五郎兵衛谷古墳	87 畑寺古墳群
99 平井寺古墳群	96 松山崎古墳群	91 久米山田遺物包含地・古墳群
102 駄馬塚跡群	100 牛馬塚古墳	94 大池古墳群
105 瀬見山古墳群・愛宕山古墳・山越古墳	103 鳥越古墳	98 かいなご古墳群
108 中村町遺跡	104 土居溜池古墳群	
112 天山町遺物包含地	106 明神ヶ鼻古墳群	107 播磨塚古墳群
116 川付遺物包含地	107 明神ヶ鼻古墳群	111 小坂五丁目遺物包含地
119 西石井遺物包含地	110 釜ノ口遺跡	115 土亀山墳墓群
123 武勇神社古墳	114 松木遺物包含地	118 桑山古墳群・遺物包含地
127 來住庵寺跡	121 井門遺物包含地	122 原ノ岡古墳群・遺物包含地
131 久米窪田遺物包含地	125 今在家遺物包含地	126 高畑遺物包含地
134 浮穴小学校遺物包含地	129 鷹ノ子遺物包含地①	130 東ヶ森千人塚古墳
137 南ヶ丘遺跡・古墳群	132 中ノ子廃寺・遺物包含地	133 波賀部古墳
140 松ヶ谷古墳群・遺物包含地	135 高尾田古墳群・遺物包含地	136 ドンゾ原古墳群・遺物包含地
143 町組遺物包含地	138 八塚古墳群	
146 夫婦池の上遺物包含地	139 西野古墳群・遺物包含地	
150 北谷原跡	141 荏原城跡	142 水坩遺物包含地
154 久杖遺物包含地	144 矢谷古墳群・遺物包含地	145 長生池の上遺物包含地
158 北土居墳墓	147 津吉遺物包含地	149 津吉上古墳群
162 素勢神社遺物包含地	148 津吉古墳群	153 道後公園遺物包含地
165 岡屋遺物包含地	151 北谷遺物包含地	157 桑原池遺物包含地
169 大畑遺跡	155 安城寺遺物包含地	161 中村二丁目遺物包含地
171 上岡屋遺物包含地	159 宮田町遺物包含地	164 土用部池の上遺物包含地 新張池の上遺物包含地
175 葛籠葛城跡	163 南中学校遺物包含地	168 都原包含地
179 匠匠山(白山)城跡	166 北梅本遺物包含地	170-③ 権現遺物包含地③
183 勝山(片山)城跡	170-① 権現遺物包含地①	
187 勝買山(梅子山)城跡	170-② 権現遺物包含地②	
191 瓶河(立瀧)城跡	171 竹ヶ谷遺跡	174 明沢城跡
195 福角城跡	176 土居城跡	177 花見山(福角)城跡
199 鳥津木城跡	177 花見山(福角)城跡	178 湊山(港山)城跡
203 二之森(ふたつ森)城跡	180 大友(大砥)城跡	182 形山城跡
	184 菊ヶ森城跡	185 奥の城(城山さん)
	188 新(真)城跡	186 重松城跡
	191 尉(除)の城跡	189 高井城跡
	196 松船城跡	190 高山城跡
	200 鏡山城跡	194 西之谷城跡
	201 観音山	198 義安寺塔跡
	204 賀生(加名山)城跡	202 松木館跡
	205 仙波館跡	206 横山城跡

北条地区包蔵地

1 名石古墳	2 丸山古墳	3 高山古墳	4 家の谷古墳	5 打越A古墳	6 打越B古墳
7 難波奥谷古墳(県指定文化財)	8 小坂古墳	9 小原古墳	10 岡の上古墳	11 萩尾古墳群	
12 宮内馬場古墳	13 辻の内古墳群	14 才の谷古墳	15 藤王比売命神社古墳	16 新城古墳群	17 龍徳寺山古墳群
18 神在古遺跡	19 女夫池遺跡	20 柳が内遺跡	21 夏好遺跡	22 池の奥遺跡	23 安養寺遺跡
24 垣の内遺跡	25 常竹大谷古墳群	26 蓮台寺経塚	27 天狗谷古墳群	28 南宮の戸貝塚	29 大遊寺古墳群
30 波田神田古墳群	31 地藏堂古墳群	32 別府遺物包含地	33 夏目古墳群	34 穂之原古墳群	35 明見神社古墳群
36 センボ山古墳群	37 宇佐八幡神社古墳	38 上難波古墳群	39 上難波箱式石棺墓群	40 下難波古墳群	41 小山田古墳群
42 小山田遺跡	43 波田箱式石棺墓群	44 波田(鳥谷池)遺跡	45 善広寺経塚	46 日浦経塚	47 マス池遺跡
48 前田池遺跡	49 恵真山遺跡	50 高瀬谷遺跡	51 穂之原山遺跡	52 高山遺跡	53 片山池遺跡
54 常竹遺跡	55 老僧奥遺跡	56 西久保遺跡	57 平山池遺跡	58 三鳥ヶ谷遺跡	59 大成遺跡
60 陣屋遺跡	61 平原遺跡	62 土居遺跡	63 観音堂遺跡	64 上竹遺跡	65 神田遺跡
66 八竹山遺跡	67 善広寺遺跡	68 東禅寺遺跡	69 河野館跡	70 来島一族宝篋印塔	
71 福性寺跡	72～77「欠番」	78 山の神古戦場跡	79 鎌大師境内(十八人塚)	80「欠番」	
81 茶臼権現遺跡	82 河原池遺跡	83 和田池遺跡	84 サオ池遺跡	85 阿都ヶ谷池遺跡	86 萩原遺跡
87 鹿島遺跡	88 腰折山東遺跡	89 上難波奥遺跡	90 上難波奥弥生墳墓	91 安養寺谷(江新池)遺跡	
92「欠番」	93 恵良城跡	94 鹿島城跡	95 十二台(神道)城跡	96 高穴城跡	97 宅並城跡
98 日高山城跡	99 横山城跡	100 浅海城跡	101 雄甲城跡	102 勝根山城跡	103 須保木城跡
104 十九地山城跡	105 萩尾城跡	106 雄甲城跡	107 丸山城跡	108 長正寺遺跡	109 新日高城跡
110 高手山城跡	111 能楽遺跡	112 高縄城跡	113 腰折山城跡	114 新城山城跡	115 神途城跡
116 新高手山城跡	117 萩ノ森城跡	118 名石城跡	119 柴尾城跡	120 兔ヶ城跡	121 波妻城跡
122 小新城岩跡	123 八竹山城跡	124 栗井坂遺跡	125 古日高城跡	126 鹿島神社前遺跡	
127 依原池遺跡	128 エギ谷古墳	129 善広寺畔地遺跡			

中島地区包蔵地

1 城の台砦跡	2 河野修積石遺構	3 野忽郡立場墳墓群	4 丸山古墳	5 梅の子島砦跡	6 梅の子遺跡
7 梅の子本城跡	8 中島栗井坂遺跡	9 吉木遺跡	10 神浦神社遺跡	11 宮野神社遺跡	12 宮野権現山古墳
13 小長師古墳	14 大串遺跡	15 大浦油田遺跡	16 大浦さこの奥遺跡	17 泰山堂山遺跡	18 泰山城跡
19 むかい山遺跡	20 泊古墳跡	21 熊田城の山遺跡	22 大串古墳群	23 瀬木戸古墳	24 かがり山1号墳
25 かがり山2号墳	26 中山古墳	27 五本松遺跡	28 宮浦西遺跡	29 宮浦遺跡	30 竹の浦遺跡
31 竹の浦西遺跡	32 泊遺跡	33 二神家墓地遺跡	34 二神城の山砦跡	35 由利島遺跡	36 由利島大谷遺跡
37 由利島長者屋敷遺跡	38 御場ヶ嶽城跡	39 長師遺跡	40 九多見城跡	41 本山城跡	
42 竹の上城跡	43 黒岩城跡	44 高木佐渡守館跡	45 旗山城跡	46 泊城跡	47 能礎砦跡
48 元怒和寺の下遺跡					

表1 平成19年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(1)

No	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡の有無	包含層・遺構	遺物	備考
1	北斎院町	364.23	10.6	No.26	私	試掘	無			再申請
2	南土居町	1,208.00	40.2	No.132	私	意見書	有			H18-148 試掘済 意見書
3	南久米町	2,225	36	No.127	公	意見書	有			H18-307 試掘済 意見書
4	道後今市	171.17	33.6	No.68	私	試掘	無			
5	谷町	207.43	12.2	No.41	私	試掘	無			
6	祝谷2丁目	349.80	37.2	No.55・ 56・57	私	試掘	無			
7	鷹子町	292.39	56.35	No.152	私	意見書	有			H18-78・79 試掘済 意見書
8	北斎院町	186.18	8.4	No.29	私	試掘	無			
9	小坂4丁目	726.00	26.1	No.110	私	試掘	無			
10	飯原2丁目	868.00	19.3	No.168	私	試掘	無			
11	枝松6丁目	598.00	25.5	No.113	私	試掘	無			
12	平井町	254.07	48.8	No.131	私	試掘	無			
13	古三津5丁目	631.39	4.3	No.2	私	試掘	無			
14	北条辻	23.50	11.4	包蔵地外 No.77・78 (北条 集積) 任意	私	踏査				文化財課対応
15	来住町	998.03	36	No.127	私	試掘	無			
16	樺味4丁目	331.00	40.2	No.81	私	試掘	有	竪穴住居・土坑 柱穴	高生・土師 硬土	
17	樺味4丁目	436.00	40.3	No.81	私	試掘	有		高生・土師 硬土	
18	樺味4丁目	783.00	40.42	No.81	私	試掘	有	竪穴住居・土坑 柱穴	高生・土師 硬土	
19	樺味4丁目	674.00	40.5	No.81	私	試掘	有	竪穴住居・土坑 柱穴	高生・土師 硬土	
20	樺味4丁目	177.00	40.2	No.81	私	試掘	有	竪穴住居・土坑 柱穴・溝	高生・土師 硬土	
21	朝美2丁目	131.52	14.6	No.34	私	試掘	有		土師・灰忠 瓦	
22	来住町	135.06	44.45	No.127	私	意見書	無			H17-199 試掘済 H18-240 意見書
23	久万ノ台	348.62	16.7	No.167	私	試掘	無			
24	祝谷4丁目	662.52	47.5	No.55・ 56・57	私	試掘	有	石室(古墳)	高生・土師 石材	
25	樺味2丁目	112.80	42.8	No.81	公	意見書	有			意見書
26	津吉町	519.24	7.4	No.148	私	意見書	有			H18-325 試掘済 意見書
27	祝谷5丁目	989.38	46.56	No.55・ 56・57	私	意見書	有			H18-233 試掘済 意見書
28	文京町	80.00	25.6	No.67	公	意見書	有			意見書
29	文京町	6.00	25.6	No.67	公	意見書	有			意見書
30	水尻町	565.00	64.5	No.142	私	試掘	無			
31	星岡1丁目	452.00	28.1	No.116	私	試掘	有	土坑・柱穴	土師	
32	古三津3丁目	140.00	11.4	No.19	私	踏査				
33	和気町1丁目	503.30	1.5	包蔵地外	公	試掘	無			
34	久米窪田町	499.02	44.1	No.131	私	試掘	有	竪穴住居・土坑 柱穴	弥生	
35	枝松4丁目	2,901.56	31.9	No.83	公	試掘	有	柱穴	土師	
36	南江戸5丁目	328.09	32.3	No.33	私	試掘	無			
37	桑原4丁目	87.50	36.8	No.85	公	意見書	有			意見書

表1 平成19年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(2)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡の有無	包含層・遺構	遺物	備考
38	東野5丁目	410.71	64.5	No.79	私	試掘	無			
39	小坂2丁目	640.00	28.3	No.110	私	試掘	無			
40	古川北3丁目	3,665.21	15.6	包蔵地外	公	試掘	有	溝・柱穴	土師・須恵	
41	持田町3丁目	233.52	35	No.72	私	試掘	無			
42	谷町	166.68	22.9	No.41	私	試掘	無			
43	猿川原	657.00	104	No.28 久米ヶ丘古墳群 (旧北条)	公	踏査	無			
44	平井町	156.18	71.3	No.90	私	試掘	無			
45	来住町	0.36	38.8	No.127	私	意見書				H17-199 試掘済 H18-240 意見書
46	桑原7丁目	214.83	31.2	No.85	私	試掘	無			
47	南久米町	169.108	35	No.126	私	試掘	無			
48	平田町・福角町	525.40	27.45	No.40	公	踏査	無			
49	持田町	145.10	35.62	包蔵地外	公	意見書				意見書
50	北井門町2丁目	1,129.96	24.3	No.121	私	試掘	無			
51	久万ノ台	287.00	20.5	No.18	私	試掘	無			
52	榊味4丁目	1,053.21	40.2	No.81	私	試掘	有	柱穴・溝	弥生・土師 須恵	
53	文京町	27.00	25.6	No.67	公	意見書				
54	平井町	355.54	80.3	No.90	私	試掘	無			
55	文京町	110.00	25.6	No.67	公	意見書				意見書
56	北久米町	154.70	31.9	No.126	公	意見書				意見書
57	東石井6丁目	158.60	22.25	No.119	公	意見書				
58	来住町	69.00	37.7	No.127	私	意見書				意見書
59	北久米町	273.53	32.6	No.124	私	試掘	有	柱穴・土坑・溝	土師・須恵	
60	榊味2丁目	141.21	42.9	No.81	私	意見書				H18-37 試掘済 意見書
61	文京町	257.00	25.6	No.67	公	意見書				意見書
62	文京町	228.00	25.6	No.67	公	意見書				意見書
63	辻町	2,704.37	14.5	No.34	私	試掘	無			
64	文京町	793.00	25.6	No.67	公	意見書				意見書
65	北久米町	999.37	29.9	No.116	私	試掘	有	柱穴	土師	
66	鷹子町	702.90	47.2	No.129	私	試掘	無			
67	東本1丁目	21.80	33.02	No.83	公	踏査				
68	南久米町	713.49	39.57	No.127	私	試掘	有	柱穴・溝	弥生・土師 須恵	
69	東野5丁目	8.00	63.9	No.79	私	意見書				意見書
70	栗井河原	6,135.00	6.6	No.82 (北条地区)	公	踏査				
71	権現町	2,600.00	58.18	No.170-3	公	踏査				
72	東野5丁目	254.00	63.9	No.79	私	意見書				H18-321 試掘済 意見書
73	立花6丁目	230.49	20.9	No.109	私	意見書				H18-306 試掘済 意見書
74	新浜町	230.68	3.2	No.11	私	試掘	無			

表1 平成19年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(3)

No	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	道路有無	包含層・遺構	遺物	備考
75	南江戸5丁目	65.10	42	No.33	公	試掘	無			
76	堀江町	2,442.00	58.18	No.38	私	試掘				
77	平井町	240.85	47	No.131	私	試掘	無			
78	今在家2丁目	214.10	31	No.125	公	意見書				意見書
79	東方町	206.00	72.5	No.144	公	意見書				意見書
80	南江戸5丁目	304.00	18.6	No.33	私	試掘	無			
81	衣山3丁目	269.47	24.1	No.20	私	試掘	無			
82	木屋町2丁目	181.32	21.9	No.67	私	試掘	無			
83-①	今在家2丁目	170.82	30.9	No.125	私	試掘	無			83-②と分画申請
83-②	今在家2丁目	1,330.07	30.9	No.125	私	試掘	有	土坑・柱穴	陶器・土師	83-①と分画申請
84	南江戸6丁目	228.79	18.6	No.35	私	意見書				H16年度埋蔵文化財調査意見書
85	朝美2丁目	447.86	42	No.34	私	試掘	無			
86	森松町	1,199.00	33.7	No.134	私	試掘	無			
87	山西町	810.95	3.1	No.22	私	意見書				H18-291 試掘済意見書
88	小坂4丁目	299.81	49.7	No.110	私	意見書				H17-265 試掘済意見書
89	米住町	330.63	40.3	No.127	私	試掘	有	柱穴・溝	銅器・土師	
90	福音寺町	238.08	28.1	No.116	私	試掘	有	柱穴	土師	
91	山越3丁目	58.20	18.1	No.46	公	踏査				
92	平井町	255.97	70.2	No.90	私	意見書				H18-299 試掘済意見書
93	朝生田町3丁目	116.53	17.8	No.109	私	試掘	無			
94	今在家2丁目	280.00	32	No.125	私	試掘	無			
95	久米窪田町	287.24	47.2	No.131	私	試掘	無			
96	南久米町	600.00	31.6	No.126	私	試掘	無			
97	恵原町・西野町	772.00	125.35	No.140	公	試掘	無			
98	桑原1丁目	217.61	37.9	No.157	私	試掘	無			
99	堀原1丁目	223.84	24.8	No.168	私	意見書				H18-304 試掘済意見書
100	立花6丁目	867.05	20.3	No.109	私	試掘	無			
101	米住町	231.46	38.8	No.127	私	意見書				H17-199 試掘済意見書
102	鷹子町	377.40	45.95	No.129	私	試掘	無			
103	衣山2丁目	320.66	34.3	No.20	私	試掘	無			
104	吉川西3丁目 市坪南3丁目	5,354.82	10.8	包蔵地外	公	試掘	無			
105	平井町	617.00	75.25	No.90	私	試掘	無			
106	枝松3丁目	308.93	33.1	No.83	私	試掘	無			
107	桑原7丁目	132.24	31.3	No.85	私	意見書				H13-163 試掘済意見書
108	柳味4丁目	161.18	44.2	No.81	私	意見書				H17-349 試掘済意見書
109	久米窪田町	147.49	49.7	No.129	私	試掘	無			
110	祝谷5丁目	872.26	47.5	No.55・ 56・57	私	試掘	有	柱穴・土坑	銅器・土師	

表1 平成19年度松山市埋藏文化財確認調査一覧

(4)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡の有無	包含層・遺構	遺物	備考
111	森松町	892.57	33.7	No.134	私	意見書	無			H19-86 試掘調査意見書
112	南久米町	165.27	34.3	No.126	私	試掘	無			
113-①	常光寺町・道後塚塚	2,012.42	104.27	No.58	公	試掘	無			
114	北久米町	60.00	29.2	No.116・122・124	私	試掘	無			
115	山西町	50.00	3.1	No.21	公	踏査	無			文化財課対応
116	辻町	1.50	14.7	No.34	公	意見書	無			H18-302 試掘調査意見書
117	西石井6丁目	141.63	20.9	No.119	私	意見書	無			H17-28 試掘調査意見書
118	辻町	4,601.05	14.7	No.34	私	意見書	無			意見書
119	西石井6丁目	548.49	21.1	No.119	私	試掘	無			
120	北斎院町	855.00	8	No.29	私	試掘	無			
121	東本2丁目	3.10	33.02	No.83	公	意見書	無			文化財課対応 意見書
122	西石井5丁目	123.11	20.7	No.119	私		無			申請取り消し
123	南江戸2丁目	495.34	15.4	No.37	私	意見書	無			H18-294 試掘調査意見書
124	木屋町2丁目	183.32	21.9	No.67	私	意見書	無			H19-82 試掘調査意見書
125	平井町	196.61	77.8	No.90	私	試掘	無			
126	谷町	217.27	22.4	No.41	私	試掘	無			
127	南江戸3丁目	165.80	13.4	No.37	私	試掘	無			
128	朝生田町3丁目	3.35	17.8	No.109	公	意見書	無			H19-90 試掘調査意見書
129	柳味2丁目	2.14	43.4	包蔵地外	公	意見書	無			H18-252 試掘調査意見書
130	北久米町	2,466.61	29.95	No.116	私	試掘	有	柱穴・溝	弥生・須恵土器	
131	北久米町	1,653.59	30.5	No.116	私	試掘	無			
132	北久米町	963.75	30.06	No.116	私	試掘	無			
133	井門町	4,598.00	22.7	包蔵地外	公	試掘	無			
134	辻町	706.28	15.1	No.34	私	試掘	無			
135	北斎院町	131.89	9.6	No.156	私	試掘	有	柱穴	土師・須恵土器質土器	
136	久万ノ台	462.00	16.5	No.167	私	試掘	有	溝	弥生・土師土器	
137	南江戸5丁目	10.00	13.5	No.33	公	意見書	無			意見書
138	三町1丁目	502.00	31.6	No.85	私	試掘	無			
139	水尻町	8.40	57.7	No.142	私	意見書	無			意見書
140										欠番
141	南江戸2丁目	287.61	14.1	No.37	私	試掘	無			
142	朝生田町2丁目	264.61	19	No.109	私	試掘	無			
143	鉄路町7番地	647.48	25	No.67	私	試掘	無			
144	祝谷2丁目	51.52	35.35	No.55・56・57	公	意見書	無			意見書
145	辻町	2,682.60	15.1	No.34	私	試掘	無			
146	姫原1丁目	45.56	25.9	No.168	私	試掘	有	柱穴	土師陶磁器	
147	西石井2丁目	85.00	20.1	No.119	公		無			文化財課対応

表1 平成19年度松山市埋藏文化財確認調査一覧

(5)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡の有無	包含層・遺構	遺物	備考
148	今在家3丁目	271.00	30.9	No.125	公	意見書	有			意見書
149	樽味4丁目	8.66	40.2	No.81	公	意見書	有			意見書
150	南江戸4丁目	1,248.00	11.8	No.35	私	試掘	有	柱穴・溝	土師	
151	南江戸5丁目	139.12	13.5	No.34	私	試掘	無			
152	鉄砲町	136.46	25	No.67	私	意見書	有			H19-143 試掘済 意見書
153	姫原2丁目	872.47	19.3	No.168	私	意見書	有			H19-10 試掘済 意見書
154	長師	2,600.00	8.7	包蔵地外	公	試掘	無			
155	山越2丁目	235.13	17.6	No.160	私	試掘	無			
156	朝美2丁目	417.17	15	No.34	私	意見書	有			H18-250 試掘済 意見書
157	星岡1丁目	1,173.97	28.7	No.116	私	試掘	有	柱穴	弥生・土師 須恵	
158	平井町	233.79	48.8	No.131	私	試掘	無			
159	東野5丁目	6.50	64.5	No.79	公	意見書	有			
160	朝美2丁目	132.19	14.6	No.34	私	意見書	有			H19-21 試掘済 意見書
161	樽味2丁目	737.90	42.8	No.81	私	意見書	有			H18-48 試掘済 意見書
162	南久米町	167.43	35.7	No.126	私	試掘	無			
163	平井町	262.98	84.4	No.90	私	意見書	有			H18-309 試掘済 意見書
164	文京町	254.00	25.6	No.164	公	意見書	有			H19-62 意見書
165	來住町	119.04	39.5	No.127	私	意見書	有			H17-127 試掘済 意見書
166	樽味2丁目	2.60	39.8	No.81	公	意見書	有			意見書
167	鷹子町	237.67	44.8	No.129	私	試掘	無			
168	山越1丁目	810.07	18.1	No.160	私	試掘	無			
169	谷町	371.90	18.1	No.41	私	試掘	有	包含層	弥生・土師	
170	谷町	340.00	18.1	No.41	私	試掘	無			
171	平井町	242.37	49.8	No.131	私	試掘	無			
172	文京町	447.00	25.6	No.67	公	意見書	有			意見書
173	余戸南2丁目	14,494.76	7.84	包蔵地外	公	試掘	無			
174	辻町	3.60	15.1	No.34	公	意見書	有			
175	樽味3丁目	640.00	40.2	包蔵地外	公	意見書	有			
176	南江戸4丁目	150.77	12.4	No.35	私	試掘	無			
177	北井門4丁目	5.80	23.4	No.121	公	意見書	有			意見書
178	北斎院町	1,297.02	7.3	No.29	私	試掘	無			
179	北井門4丁目	274.62	23.4	No.121	私	試掘	無			
180	細寺3丁目	69.40	54.7	No.85	公	意見書	有			意見書
181	樽味2丁目	163.14	42.9	No.81	私	意見書	有			H18-37 試掘済 意見書
182	中村3丁目	149.11	26.3	No.161	私	試掘	無			
183	文京町	181.00	25.6	No.67	公	意見書	有			
184	桑原2丁目	74.00	39.8	No.82	公	意見書	有			意見書

表1 平成19年度松山市埋藏文化財確認調査一覧

(6)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡の有無	包含層・遺構	遺物	備考
185	西長戸町	1,727.00	10.3	No.17	私	試掘	無			
186	柳味4丁目	4,408.50	40.2	No.81	私	意見書				H17-167、H19-16・20 試掘済 意見書
187	南斎院町	392.34	25.4	No.31	私					
188	南江戸5丁目	323.96	13.95	No.34	私	試掘	無			
189	東方町	1,241.07	57.3	No.143	私	意見書				H18-196 試掘済 意見書
190	柳味2丁目	737.90	42.8	No.81	私	意見書				H18-46 試掘済 意見書
191	桑原4丁目	243.63	35.80	No.85	私	試掘	無			
192	畑寺町	133.80	54.70	No.17	私	試掘	無			
193	松末2丁目	489.00	27.10	No.114	私	試掘	無			
194	西石井5丁目	2.70	20.70	No.119	公	意見書				
195	権現町	35.40	58.18	No.170-3	公	踏査				
196	祝谷東町	4,474.98	102.30	No.58	私	意見書				H3-8 試掘済 意見書
197	立花6丁目	122.03	20.79	No.109	公	意見書				意見書
198	山越2丁目	201.62	18.00	No.160	私	意見書				H18-158 試掘済 意見書
199	津吉町	232.88	77.60	No.148	私	試掘	無			
200	文京町	528.00	25.60	No.67	公	意見書				意見書
201	船ヶ谷町・ 東山町	156.92	13.80	No.17	公	意見書				意見書
202	安城寺町・ 船ヶ谷町	214.34	57.4	No.155	公	意見書				意見書
203	磯河内	393.00	19.8	No.48 (北条地区)	公	試掘	無			
204	吉藤1丁目	236.68	33.7	No.45	私	試掘	無			
205	道後今市	149.75	31.58	No.68	私	試掘	有	土坑	弥生・土師 相恵	
206	桑原5丁目	628.44	36.3	No.82	私	試掘	無			
207	山越2丁目	102.51	17.8	No.160	私	試掘	無			
208	朝生田3丁目	153.30	19.1	No.109	公	意見書				意見書
209	食場町	17,370.00	120	No.184	私	踏査				
210	桑原7丁目	424.00	32.2	No.85	公	意見書				意見書
211	小坂5丁目	433.00	23.1	No.111	私	試掘	無			
212	中島大浦～吉木	10,000.00	98	包蔵地外	公	踏査				
213	柳味2丁目	707.00	43	包蔵地外	私	試掘	有	壱穴住居・土坑 柱穴	弥生・土師 相恵	
214	南江戸2丁目	0.90	14.1	No.37	公	意見書				意見書
215	久米窪田町	372.85	45.6	No.131	私	試掘	無			
216	桑原1丁目	4.42	36.39	No.157	公	意見書				意見書
217	祝谷6丁目	182.12	59.3	No.55・ 56・57	私	試掘	無			
218	朝美2丁目	1.60	15	No.34	公	意見書				意見書
219	平井町	250.00	78.4	No.96	公	踏査				
220	東野5丁目	310.62	62.5	No.79	私	試掘	無			
221	南江戸5丁目	139.06	13.5	No.34	私	意見書				H19-151 試掘済 意見書

松山市埋蔵文化財調査関係資料

表1 平成19年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(7)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡の有無	包含層・遺構	遺物	備考
222	南久米町	4.18	36.7	No.126	公	意見書				意見書
223	北吉田町	800.00	4	No.23	公	踏査				
224	樽味4丁目	100.06	38.5	No.81	私					
225	中村3丁目		28	No.161	公	意見書				意見書
226	樽味4丁目	139.42	38.5	No.81	私	試掘	無			
227	南江戸4丁目	106.72	12.3	No.35	私	試掘	無			
228	鷹子町	520.00	57.23	No.94	公	踏査				
229	平井町	240.85	47	No.131	私	意見書				H19-77 試掘済 意見書
230	星岡1丁目	893.76	28.4	No.116	私	意見書				H18-74 試掘済 意見書
231	南久米町	41.80	36.7	No.127	公	意見書				意見書
232	樽味3丁目	82.00	40.2	No.81	公	意見書				意見書
233	立花6丁目	0.93	20.79	No.109	公	意見書				意見書
234	桑原6丁目	657.00	31.8	No.83	私	試掘	無			
235	樽味2丁目	397.04	39.8	No.81	私	意見書				H18-187 試掘済 意見書
236	南江戸4丁目	247.54	12.2	No.35	私	試掘	無			
237	文京町	575.00	25.6	No.67	公	意見書				意見書
238	桑原2丁目	115.54	39.8	No.157	私	試掘	無			
239	樽味4丁目	378.00	38.5	No.81	私	試掘	有	柱穴・土坑溝	弥生・土師 須恵	
240	中村2丁目	122.28	28	No.161	私	試掘	無			
241	小坂2丁目	612.91	30.9	No.110	私	試掘	無			
242	樽味4丁目	226.39	38.5	No.81	私	試掘	有	包含層	弥生・土師	
243	朝美1丁目	1638.62	14.6	No.34	私	試掘	有	包含層	土師・須恵 木片	
244	北斎院町	180.62	8.4	No.29	私	意見書				H19-8 試掘済 意見書
245	平井町	219.49	59.5	No.152	私	試掘	無			
246	祝谷町1丁目	98.29	57.7	No.53	私	試掘	無			
247	文京町	1.60	25.6	No.67	公	意見書				愛大埋文調査室 試掘済 意見書
248	別府町	187.00	4.9	No.30-1	私	試掘	無			
249	山越2丁目	254.61	17.6	No.160	私	意見書				H19-155 試掘済 意見書
250	南江戸5丁目	251.51	13.3	No.34	私	試掘	無			
251	今在家3丁目	130.54	32.4	No.127	私	試掘	無			
252	天山町	2334.29	30.3	No.117	私					
253	馬水町・和気町	235.85	2.8	No.12	私	試掘	無			
254	南江戸4丁目	710.89	11.45	No.35	私	試掘	無			
255	船ヶ谷町	142.54	49.7	No.17	私	試掘	無			
256	祝谷4丁目	9549.00	55	No.55・ 56・57	私	試掘	有	土坑・溝・柱穴 竈・竈穴住居	弥生・石器	
257	平井町	383.79	80.9	No.90	私	試掘	無			
258	道後橋又	227.17	29.9	No.67	私	試掘	無			

表1 平成19年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(8)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡の有無	包含層・遺構	遺物	備考
259	樽味4丁目	2,230.58	39.02	No.81	私	意見書	有			樽味四反地6次・13次・18次
260	水尻町	1,680.00	57.7	No.142	公	意見書	有			意見書
261	鷹子町	491.92	47.6	No.129	私	試掘	無			
262	桑原2丁目	135.09	37	No.82	私	意見書	有			H18-199 試掘済 意見書
263	今在家3丁目	2,154.40	32.8	No.125	私	試掘	無			
264	久万ノ台	396.00	14.5	No.167	私	試掘	無			
265	北土居町	3.00	27.4	No.120	公	意見書	有			意見書
266	下難波	2,491.00	7.73	包蔵地外	公	試掘	無			
267	北斎院町	245.12	7.5	No.26	私	試掘	無			
268	東野5丁目	122.77	64.34	No.79	私	意見書	有			H18-106 試掘済 意見書
269	鷹子町	4,954.77	57.23	No.94	私	試掘	無			
270	南江戸5丁目	5.90	32.3	No.33	公	意見書	有			意見書
271	樽味4丁目	3,424.70	40.46	No.81	私	意見書	有			H17-167、H19-18・19 試掘済 意見書
272	道後善多町	153.67	35.3	No.68	私	試掘	無			
273	朝生田町2丁目	551.72	20.5	No.109	私	試掘	無			
274	星岡1丁目	152.51	28.4	No.116	私	意見書	有			H18-74 試掘済 意見書
275	文京町	18.00	25.6	No.67	公	意見書	有			愛大埋文調査室 試掘済 意見書
276	祝谷6丁目	182.12	59.3	No.55・ 56・57	私	意見書	有			H19-217 試掘済 意見書
277	辻町	158.54	15.2	No.34	私	試掘	無			
278	辻町	237.25	13.4	No.34	私	試掘	無			
279	祝谷2丁目	618.00	48.3	No.55・ 56・57	私	試掘	無			
280	星岡1丁目	741.24	28.4	No.116	私	意見書	有			H18-74 試掘済 意見書
281	水尻町	540.82	59.1	No.142	私	試掘	無			
282	南江戸4丁目	2.50	12.4	No.35	公	意見書	有			意見書
283	平井町	171.21	61.3	No.95	私	試掘	無			
284	東野5丁目	124.85	64.34	No.79	私	意見書	有			H18-106 試掘済 意見書
285	持田町1丁目	3.50	35.62	包蔵地外	公	意見書	有			愛大埋文調査室 試掘済 意見書
286	鷹子町	330.58	47.6	No.129	私	意見書	有			H19-216 試掘済 意見書
287	南久米町	232.23	36.7	No.127	私	試掘	無			
288	樽味3丁目	8.40	40.2	No.81	公	意見書	有			愛大埋文調査室 試掘済 意見書
289	桑原4丁目	156.00	37.6	No.85	私	試掘	無			
290	樽味2丁目	146.66	42.9	No.81	私	意見書	有			H18-37 試掘済 意見書
291	樽味4丁目	239.59	40.2	No.81	私	意見書	有			H19-242 試掘済 意見書
292	朝美1丁目	2.20	14.6	No.34	公	意見書	有			意見書
293	樽味4丁目	494.50	40.2	No.81	私	意見書	有			H17-167、H19-16 試掘済 意見書
294	中村2丁目	407.57	28.6	No.110	私	試掘	無			
295	北梅本町	680.71	108.4	No.105	私					

松山市埋藏文化財調査関係資料

表1 平成19年度松山市埋藏文化財確認調査一覧

(9)

No.	所在地	面積 (㎡)	標高 (m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡の有無	包含層・遺構	遺物	備考
296	南江戸3丁目	584.75	13.7	No.37	私	試掘	無			
297	道後喜多町	132.37	34.9	No.68	私	試掘	無			
298	朝美1丁目	1656.98	14.6	No.34	私	意見書				H19-243 試掘済 意見書
299	和気町1丁目	38.72	2.8	No.12	公	意見書				意見書
300	小坂5丁目	544.62	23.8	No.111・ 112	私	意見書				H18-136 試掘済 意見書
301	南久米町	997.11	35.2	No.126	私	意見書				H18-135 試掘済 意見書
302	桑原6丁目	599.47	31.8	No.83	私	意見書				H19-234 試掘済 意見書
303	朝美2丁目	3.83	15	No.34	公	意見書				H18-250 一部試掘済 意見書
304	鷹子町	1927.00	65.1	No.93	公	試掘	無			
305	辻町	773.93	13.6	No.34	私	試掘	無			
306	中村1丁目	198.34	28.7	No.108	私	試掘	有	柱穴	溝・土脚	
307	今在家2丁目	214.87	31	No.125	私	試掘	無			
308	小坂2丁目	495.70	28.5	No.110	私	試掘	無			
309	鷹子町	314.29	44	No.128	私	試掘	無			
310	小坂4丁目	442.00	25.2	No.110	私	試掘	無			
311	細寺町 北久米町	2000.00	52.5	No.88	公	踏査				
312	樽味4丁目	3.80	40.2	No.81	公	意見書				H19-16 試掘済 意見書
313	樽味4丁目	2230.58	40.2	No.81	私	意見書				樽味西反地6次・ 12次・18次
314	星岡1丁目	220.27	28.4	No.116	私	意見書				H18-71 試掘済 意見書
315	文京町	42.20	25.6	No.67	公	意見書				受大塚文調査室 試掘済 意見書
316	文京町	0.945	25.6	No.67	公	意見書				受大塚文調査室 試掘・立合済 意見書
317	別府町	78.61	6	No.30-2	私	試掘	無			
318	山西町	159.73	3	No.22	私	試掘	無			
319	小坂5丁目	1216.35	25.2	No.113	私	試掘	無			
320	東野5丁目	140.07	64.34	No.79	私	意見書				意見書
321	立花6丁目	2.70	20.79	No.109	公	意見書				意見書
322	南久米町	374.71	34.2	No.126	私	試掘	無			
323	道後一万	105.51	31.6	No.68	私	試掘	無			
324	北吉田町	355.68	5.8	No.24	私	試掘	無			
325	東野町5丁目	9507.92	64.34	No.79	私	意見書				H18-106 試掘済 意見書
326	文京町	500.00	25.6	No.67	公	意見書				意見書
327	道後今市	151.27	32.7	No.68	私	試掘	無			
328	北青院町	481.74	10.6	No.26	私	意見書				H19-1 試掘済 意見書
329	西石井1丁目	78.00	21.1	No.119	公	意見書				意見書
330	小坂4丁目	442.00	25.2	No.110	私	意見書				H19-310 試掘済 意見書

表2 平成19年度松山市埋藏文化財本格調査一覧

遺跡番号	遺跡名	所在場	調査目的	時代	主要遺構・遺物等	発掘調査面積 (㎡)	調査期間
405.6A	【松山西町中村寺北山開闢遺跡群】 東山遺跡9号溝溝	東山丁1116番1-1117番1の1の一部	築造	弥生・中世	惣式石段基礎・溝・土坑・柱穴・弥生土層・埋藏部・土層部・青銅・石葺丁・石葺・板石・中世瓦	476	H19.5.18～H19.8.31
405.6B	【松山西町中村寺北山開闢遺跡群】 小堀遺跡5号溝溝	小堀丁1106番1の一部	築造	弥生・古墳	惣式石段基礎・溝・土坑・弥生土層・土層部・石葺	6,000 約700	H19.5.18～H19.7.13 405.6B
405.6C	【松山西町中村寺北山開闢遺跡群】 東山遺跡10号溝溝	東山丁1116番2の1の一部	築造	弥生・中世	惣式石段基礎・土坑・柱穴・弥生土層・土層部・埋藏部・板石	約700	H19.9.3～H19.10.15
405.6D	【松山西町中村寺北山開闢遺跡群】 小堀遺跡6号溝溝	小堀丁1106番1の一部	築造	弥生	溝・石穴・自然土層・土層部・土層部・埋藏部・板石	5,116	H19.10.18～H19.12.27
403.3A	【松山西町小野100号開闢遺跡群】 中野遺跡6号溝溝	中野町甲 307.41の1	築造	弥生・古墳	惣式石段基礎・土坑・柱穴・自然土層・弥生土層部・弥生土層部・陶器部・瓦・石葺・石葺	1,283.86	H19.6.1～H19.8.13
403.3B	【松山西町小野100号開闢遺跡群】 中野遺跡7号溝溝	中野町甲 311.5の1の一部 中野丁151の1の一部	築造	弥生・古墳	惣式石段基礎・土坑・柱穴・自然土層・弥生土層部・弥生土層部・陶器部・瓦・石葺	741.78	H19.9.18～H19.11.20
403.3C	【松山西町小野100号開闢遺跡群】 中野遺跡8号溝溝	中野町甲 218.41の1の一部	築造	弥生・中世	土坑・柱穴・弥生土層・埋藏部・土層部・石葺・石葺	241.53	H20.3.28～H20.5.30
484.1	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡8号溝溝	北山町 485.9	築造	近世・近代	木造建築物・埋蔵遺構・溝・自然土層・土坑・柱穴・自然土層・埋藏部・土層部・埋藏部・瓦・石葺	約1,280	H19.2.15～H19.5.31
484.2A	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡9号溝溝	北山町 431.9の一部	築造	古代・近世	溝・自然土層・埋蔵遺構・土坑・柱穴・土層部・埋藏部・石葺	約700	H19.7.17～H19.9.28
484.2B	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡10号溝溝	北山町 482.2の一部	築造	中世・古墳	木造建築物・溝・土坑・弥生土層・埋藏部・瓦・石葺	507	H19.10.1～H20.2.29
484.2C	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡11号溝溝	北山町 433.9の一部	築造	古代・中世 近世	惣式石段基礎・溝・土坑・土層部・埋藏部・石葺・土層部・埋藏部・瓦・石葺	1,833.02	H20.1.7～H20.6.31
486	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡12号溝溝	北山町 429番1の1の一部	築造	中世	惣式石段基礎・溝・土坑・土層部・埋藏部・石葺・土層部・埋藏部・瓦・石葺	約280	H19.4.18～H19.6.13
487	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡13号溝溝	北山町 421.1の一部	築造	古代・中世	溝・土坑・木造建築物・土層部・土層部・埋藏部・土層部	212.25	H19.4.18～H19.7.20
488	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡14号溝溝	北山町 421.2の一部	築造	古代・近世	土層部・埋蔵遺構・土坑・柱穴・土層部・埋藏部・石葺	32.7	H19.5.7～H19.6.6
489	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡15号溝溝	北山町 421.3の一部	築造	古代・近世	溝・溝・瓦・埋蔵土層・柱穴・弥生土層・土層部・埋藏部・瓦	約138	H19.5.18～H19.8.10
490	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡16号溝溝	北山町 421.4の一部	築造	弥生・古墳	惣式石段基礎・溝・土坑・土層部・埋藏部・石葺・土層部・埋藏部	135	H19.5.18～H19.6.13
491	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡17号溝溝	北山町 462番1の一部	築造	弥生・古代	惣式石段基礎・溝・柱穴・土坑・自然土層・弥生土層部・埋藏部・石葺・土層部・埋藏部	約77.26	H19.7.28～H19.9.14
492	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡18号溝溝	北山町 421.5の一部	築造	古代・古墳	土層部・柱穴・土坑・自然土層・土層部・埋藏部・土層部・埋藏部・瓦・石葺	25.4	H19.7.28～H19.8.3
493	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡19号溝溝	北山町 491.9	築造	古代・中世	土層部・柱穴・土坑・自然土層・土層部・埋藏部・土層部・埋藏部・石葺	439	H19.8.1～H19.10.31
494	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡20号溝溝	北山町 421.6の一部(宮内庁所有地)	築造	近世	埋蔵土層・瓦・中世埋蔵土層・土層部・埋藏部・土層部・埋藏部・土層部・埋藏部	約70	H19.6.6～H20.3.31
495	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡21号溝溝	北山町 421.6の一部(宮内庁所有地)	築造	近世	石葺・瓦・埋蔵部	約129	H19.8.2～H19.12.2
496	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡22号溝溝	北山町 421.6の一部(宮内庁所有地)	築造	古代	石葺・瓦・埋蔵部	約134	H19.9.18～H19.10.9
497	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡23号溝溝	北山町 421.6の一部	築造	弥生・古墳	惣式石段基礎・土坑・柱穴・弥生土層・土層部・埋藏部・石葺・土層部・埋藏部	約49	H19.10.1～H19.10.31
498	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡24号溝溝	北山町 421.6の一部	築造	弥生・古墳	惣式石段基礎・土坑・柱穴・弥生土層・土層部・埋藏部・石葺・土層部・埋藏部	約56	H19.11.1～H19.11.22
499	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡25号溝溝	北山町 421.6の一部	築造	古代	埋蔵土層・土層部	約300	H19.11.7～H20.3.31
500	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡26号溝溝	北山町 421.6の一部(宮内庁所有地)	築造	弥生・古墳	惣式石段基礎・土層部・埋藏部・土層部・埋藏部・石葺・土層部・埋藏部	約250	H19.11.8～H20.3.31
501	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡27号溝溝	北山町 421.6の一部(宮内庁所有地)	築造	近世	石葺・瓦・埋蔵部	約100	H19.12.3～H20.2.5
502	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡28号溝溝	北山町 421.6の一部	築造	弥生・古墳	惣式石段基礎・埋蔵土層・土坑・柱穴・弥生土層・土層部・土層部・土層部・土層部・土層部	160.5	H19.12.3～H20.1.31
503	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡29号溝溝	北山町 421.6の一部	築造	弥生・中世	溝・土坑・柱穴・自然土層・弥生土層部・埋藏部・石葺・板石	86	H20.1.7～H20.2.15
504	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡30号溝溝	北山町 421.6の一部(宮内庁所有地)	築造	近世	溝・土層部・埋蔵土層・土坑・瓦・埋蔵部	約130	H20.1.7～H20.3.31
505	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡31号溝溝	北山町 421.6の一部	築造	弥生・古墳	惣式石段基礎・土層部・埋藏部・石葺	127.85	H20.2.1～H20.2.29
506	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡32号溝溝	北山町 421.6の一部(宮内庁所有地)	築造	近世	瓦・埋蔵部	約88	H20.3.3～H20.3.31
507	【松山西町小野202-203号開闢遺跡群】 北山遺跡33号溝溝	北山町 421.6の一部	築造	弥生・中世	惣式石段基礎・柱穴・弥生土層・土層部・埋藏部	約350	H20.3.17～H20.5.30

平成 19 年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図



(S = 1 : 80,000)

Ⅲ 平成 19 年度 保存処理及び出土遺物整理

1. 平成 19 年度出土遺物整理の概要

当埋蔵文化財センターでは、近年の発掘調査の整理作業と並行して、20年間の調査資料の整理作業も行っている。今年度は昨年度に引き続き、膨大になってきた収蔵品の再整理と、保存処理を必要とする資料への対応を重点項目とした。

1. 遺物

鉄製品：収蔵品目録の作成を重点的に行う。保存処理は基本的に当センターで行うが、特殊な資料や X 線撮影は外部委託している。今年度の重要資料の外部委託はしていない。

植物性遺物：木製品や種実 は自然科学分析を外部委託し、保存処理は当センターで行っている。今年度の木製品の保存処理は株式会社吉田生物研究所に依頼した。

動物遺体：洗浄や保護の作業を行い、人骨の鑑定、獣種同定は外部委託している。今年度の鑑定、同定の外部委託はしていない。

土器・石器：収蔵庫整理では、報告書の刊行された遺跡資料を主体に選別作業をし、収納を行う。特に、展示や類例調査等で使用頻度の高い資料については、収蔵一覧を作成し、特別収蔵庫に一括保存した。今年度は暗文土師器の整理を進め、台帳作成後に、特別収蔵庫等に保管をした。

2. 写真

ネガ：35mm判と6×7判は、注記や台帳作成作業が終わり次第、写真整理室の所定の場所に収納する。4×5判は写真担当者が整理をする。

プリント：報告書刊行後に、ファイルをコンテナに収納し、収蔵庫で保管する。

3. 実測図・日誌・報告書原図

遺構測量図、遺物実測図、日誌、報告書原図は収蔵庫の所定の場所に保管する。

(山本・梅木)

2. 保存処理

保存処理室では主に木製品の保存処理（PEG含浸処理）、金属製品の保存処理（減圧樹脂含浸）を行っており、必要に応じて現場に出向き、遺構・遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り作業も行っている。（山本）

保存処理の方法

1. 木製品の保存処理は、PEG（ポリエチレングリコール）含浸処理を行っている。このPEG含浸法は、木製品中の水分をPEGに置き換える方法で、20%の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていき最終段階では100%濃度のPEG溶液をしみこませることになる。この処理は1～1.5年位を要する。

2. 金属製品の保存処理は、前処理（脱水・脱塩・安定化処理）を行い、順次クリーニング（付着しているゴミ・土壌・サビ等の除去）、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した遺物は、収納システム（三菱ガス科学・RPシステム）により収納後、特別収蔵庫に保管している。以下、処理を行った遺跡名と遺物点数を下表に記す。

表1 平成19年度金属製品保存処理遺跡名一覧 (1)

No.	遺跡名	点数	作業工程	刊行物
313	薬佐池古墳2次	2	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第92集
404-3D	東野森ノ木遺跡	21	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第117集
404-4A	東野森ノ木遺跡2次調査	2	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第117集
443	松山大学構内遺跡6次調査	30	処理済・処理室保管	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報18）
41	津田中構内遺跡1次	4	処理・収納済	松山市文化財調査報告書第80集
308	久米高畑遺跡30次調査	1	処理・収納済	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報9）
334	大浜遺跡3次	1	処理・収納済	松山市文化財調査報告書第78集
344	北斎院地内遺跡4次	17	処理・収納済	松山市文化財調査報告書第80集
376-1C	桑原遺跡4次調査（4区）	7	処理・収納済	松山市文化財調査報告書第105集
376-1A	桑原遺跡4次調査（1・2区）	1	処理・収納済	松山市文化財調査報告書第105集
376-1B	桑原遺跡4次調査（3・5区）	14	処理・収納済	松山市文化財調査報告書第105集
393	南久米町遺跡4次調査	6	処理・収納済	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報14）
401-1	上荷屋遺跡3次調査	14	処理・収納済	松山市文化財調査報告書第104集
417	番町遺跡	316	処理中	松山市文化財調査報告書第109集
471	文京遺跡29次調査	1	クリーニング中	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報19）
484-1	水尾遺跡4次調査	2	クリーニング中	未報告
306	岩崎遺跡	102	脱塩中	松山市文化財調査報告書第71集
404-1A	枝松遺跡6次調査	1	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
404-1B	榊味四反地遺跡7次調査	3	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集

平成19年度 金属製品保存処理一覧表

(2)

No.	遺跡名	点数	作業工程	刊行物
404 2-A	樽味四反地道跡8次調査	9	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
404 2-B	樽味高木道跡7次調査	1	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
404 3-A	樽味高木道跡8次調査	1	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
404 3-B	樽味立込道跡3次調査	1	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
404 3-C	樽味高木道跡9次調査	4	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
404 4-B	樽味四反地道跡9次調査	1	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
404 4-C	樽味高木道跡11次調査	2	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
404 4-D	東野森ノ木道跡3次調査	1	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
404 4-F	東野森ノ木道跡4次調査	1	脱塩中	松山市文化財調査報告書第117集
447	久米高畑道跡65次調査	2	脱塩中	松山市文化財調査報告書第121集
462	大峰ヶ台道跡10次調査	16	脱塩中	松山市文化財調査報告書第119集
481	東野お茶屋台道跡7次調査	6	脱塩中	未報告(松山市埋蔵文化財調査年報19)

3. 動物遺骸体の保存処理は、人骨、獣骨とも大部分のものが、土とともに出土した状態で搬入される。処理室ではこの余分な土を、竹べら・竹串・針先・ピンセットなどを用いて、徐々に取り除いて骨の取り出しを行っている。脆い状態のものはアクリル系合成樹脂を塗布し、乾燥、硬化させてから少しずつ土を取り除き、現れた部分にまた樹脂を塗る。この繰り返しを行って取り出した骨は、最後に樹脂溶液に浸し漬けて全体(内部まで)を強化し保護する。

4. 遺構・遺物の取り上げ作業は、発掘調査で検出される遺物は腐食し、脆弱化しているためそのまま取り上げることが困難なものがある。また、ほとんどの調査の場合、発掘した遺構を現場で保存できない。このような場合に遺構・遺物の取り上げを行う。遺物が小さい場合は簡易な方法で行い(骨を土ごとに取り上げること、年報11.保存処理事業I-3参照)、遺物が大きく重量が増す場合は発泡ウレタン樹脂を用いて対象物全体を固めて取り上げる(年報X.保存処理事業I-3参照)。この発泡ウレタン樹脂での梱包は従来使用していた石膏やコンクリートでの梱包より軽く仕上がり、搬出、運搬の作業が軽減される。室内に搬入した後、時間をかけて精査することによって、発掘期間中に屋外で調査する以上の成果を期待できることも多い。

5. 土層の剥ぎ取り転写の作業は、転写面にエポキシ系樹脂を塗り、樹脂の補強のためガーゼなどで裏打ちを行い、樹脂が硬化後転写面より剥ぎ取る。剥ぎ取った土層は、パネル仕上げにして展示、保管する。この土層の剥ぎ取りは、発掘後も室内で実物をあらゆる角度から精査できる効果的な記録保存法ともなる。

参考文献 1～5 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター『埋蔵文化財ニュース16・24・28・31』

3. 出土遺物整理

松山市内出土の暗文土師器

1 はじめに

近年、財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センターが実施した発掘調査の中で、暗文を施す土師器が出土した遺跡が数多く存在する。平成19年度には畿内産土師器の研究で知られる奈良橿原考古学研究所 林部均氏の分析・指導により畿内産土師器と考えられる土師器が出土した遺跡が6遺跡あることが判明した。ここでは、遺跡別に出土した暗文土師器の分析をおこなうことにする。

2 分析

資料は、以下の6遺跡から出土した14点である。

(1) 出土遺跡

① 道後湯月町遺跡 (1・2・4・5)：道後温泉本館建物に隣接する場所にあたり、池址や包含層中より13点の暗文土師器が出土した。このうち、4点が畿内産土師器である。すべて坏C形態で、1は飛鳥Ⅰ期、その他は飛鳥Ⅱ期に相当する。1・2は口径17cm、器高5.8cmを測り、体部内面に放射状暗文を施す。1は口縁部外面にヨコ方向のヘラミガキ、体部内面にジグザグ状のヘラミガキを施す。4・5は口径12cmを測る小型品である。すべて胎土中に砂粒を多く含む粗製品で、色調は黄褐色を呈する。

② 松山大学構内遺跡3次調査 (3・12)：古墳時代から古代の遺物包含層中より、13点の暗文土師器が出土した。このうち、畿内産土師器は2点で、3は飛鳥Ⅱ期、12は平城Ⅲ期に相当する。3は口径15.8cmを測る坏C形態で、体部内面に1段放射状暗文を施す。黄褐色を呈する粗製品である。12は口径17.2cm、器高3.2cmを測る坏A形態で、体部内面に放射状暗文、底部にらせん暗文を施す。胎土中に砂粒を含まない精製品で、色調は赤褐色を呈する。

③ 東山古墳6次調査 (6)：27号墳主体部である石室内から出土した坏A形態の完形品で、飛鳥Ⅳ期に相当する。口径17.6cm、器高5.2cmを測り、体部内面に2段放射状暗文を施す。粗製品で、色調は赤褐色を呈する。

④ 久米高畑遺跡11次調査 (7)：久米官衙遺跡群内に所在する遺跡で、7は包含層出土品である。高台の付く坏B形態で飛鳥Ⅳ期に相当し、口径15.8cm、器高5.6cmを測る。体部外面にヨコ方向のヘラミガキ、内面に2段放射状暗文を施す。赤褐色を呈する粗製品である。

⑤ 北斎院遺跡 (8・11・13)：松山平野西部に位置し、包含層中より9点の暗文土師器が出土した。このうち、3点が畿内産土師器である。8・13は平城Ⅰ期、11は平城Ⅲ期に相当する。8・11は坏A形態で、8は赤褐色を呈する粗製品、11は黄褐色を呈する粗製品である。13は高坏A形態で、柱部は9面の面取りが施されている。赤褐色を呈する精製品である。

⑥ 岩崎遺跡 (9・10・14)：道後城北遺跡群東部に位置し、溝や包含層中より14点の暗文土師器が出土した。このうち3点が畿内産土師器であり、9・14は8世紀代の溝、10は包含層出土品である。9は平城Ⅰ期、10・14は平城Ⅲ期に相当する。9は坏A形態の底部片で、底部外面にヘラミガキ、内面にはらせん暗文を施す。10は口径16.4cmを測る坏A形態で、体部外面にヨコ方向のヘラミガキ、内面に1段放射状暗文を施す。14は高坏A形態で、坏部内面に連弧状暗文と放射状暗文を施す。10・14は黄褐色を呈する粗製品、9は赤褐色を呈する精製品である。

(2) 器種・時期

器種別にみると、坏A形態6点、坏B形態1点、坏C形態5点、高坏A形態2点となる。時期別では、飛鳥時代7点〔飛鳥Ⅰ期：1点、飛鳥Ⅱ期：4点、飛鳥Ⅳ期：2点〕、奈良時代7点〔平城Ⅰ期：3点、平城Ⅲ期4点：〕である。特に、道後湯月町遺跡では、飛鳥Ⅰ期やⅡ期に相当する土師器が4点あり、市内出土品の内、最も古い段階の土師器が集中して出土している。

(3) 色調・胎土

色調では、赤褐色を呈するもの4点(8・9・12・13)、赤橙色を呈するもの2点(6・7)、黄褐色を呈するもの8点(1～4・5・10・11・14)とに分けられる。一方、胎土では精製された粘土を使用する精製品3点(9・11・12)と、胎土中に砂粒を多く含む粗製品11点(1～8・10・13・14)とに区別される。なお、色調と胎土では以下のように大別される。①：精製品・赤褐色〔9・12・13〕、②：粗製品・赤橙色〔6・7〕、③：粗製品・黄褐色〔1～8・10・11・14〕

3 まとめ

今回の分析では、松山市内出土の畿内産土師器の出現期が飛鳥Ⅰ期、7世紀前半であり、8世紀中頃まで畿内産土師器が市内に存在していたことがわかった。畿内産土師器の特徴をみると、色調では赤褐色、赤橙色、黄褐色の3種類があり、胎土をみると精製品と粗製品とがある。これは、松山市内に搬入された畿内産土師器の生産地が少なくとも2箇所以上あったことを物語るものである。出土遺跡では道後湯月町遺跡や岩崎遺跡、久米高畑遺跡など、松山市内における拠点集落に比較的多く出土していることが判る。紙面の都合上、未掲載であるが畿内産土師器と形態は酷似するが、調整方法や暗文手法が異なる土師器が多数出土している。これらは在地産であるか、もしくは畿内地方以外の地域からの搬入品であるかは現在のところ判断し得ない。いずれにせよ、畿内産土師器の出土は、古代における畿内地方と松山平野との関係を知るうえで重要な資料であり、松山平野における古代の土師器編年を考えるうえでも貴重なものとなる。

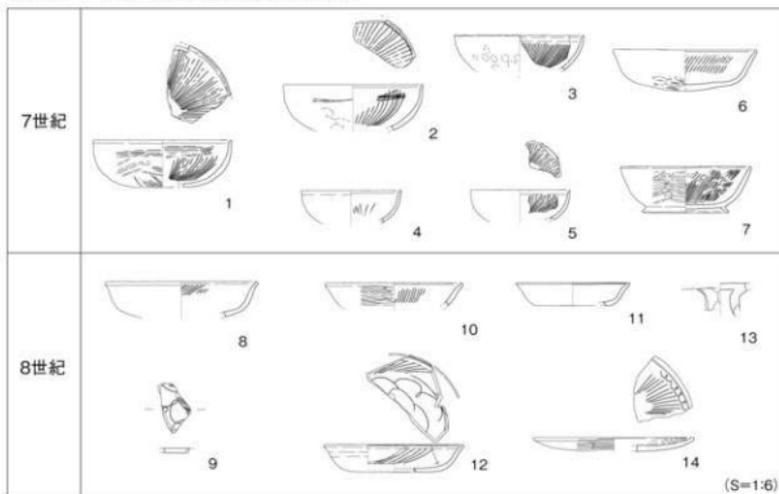


図1 松山平野出土の畿内産土師器

IV 平成 19 年度
受託事業

タンチ（双子）山古墳調査

所在地	松山市鷹子町200-1
期間	平成4年8月20日～同年10月13日
面積	150㎡
原因	緊急調査
備考	個人住宅建設に伴う調査
担当	重松佳久



図1 調査地位位置図

概要 本調査は、平成4年度の国庫補助事業松山市内遺跡発掘調査として、個人住宅の建設に伴う埋蔵文化財調査を実施したものである。調査面積264.63㎡のうち150㎡を調査対象とし、消滅した古墳（タンチ（双子）山古墳）に伴うと思われる器財埴輪や円筒埴輪・朝顔型埴輪などが確認されている。

本調査区では、地山層が調査区東部より緩やかに南西方向に傾斜することが観察され、その上層に古墳時代の遺物を含む暗褐色粘性土が比較的厚く堆積する。この暗褐色粘性土層中に多量の埴輪等の遺物が包含され、その分布状況は7m程度の幅を持って東西に帯状に広がり、その検出レベルは地山層の僅かな傾斜に符合して西方に下り、南面に傾斜している。また、埴輪の接合例は地形の傾斜に直交する南北軸が比較的多く、埴輪の底部位などの検出状況から、ほぼ原位置を保っているものも存在すると考えることができる。上位面では、中世から近世にかけて、5条の溝状遺構が検出されている。まとめ 調査地は、終戦間近に軍の滑走路工事で消滅したタンチ山古墳の北東外周部が想定されており、多量の埴輪をはじめ、周辺住民や当時の滑走路敷設従事者から小久米命の塚伝承など古墳に係わる多くの情報を得る事が出来た。同古墳は5世紀後半から6世紀代の大型古墳と想定され、埴丘規模は三島神社古墳や波賀部神社古墳等の規模に匹敵すると言われている。また別名、双子山古墳と呼ばれるように埴形は前方後円墳形を呈し、石室は羨道部を持つ横穴式石室構造、内部は一枚石の奥壁で棚を持つ古墳であったとも言われている。今回の調査では、古墳の外周部を構成する周堤の一部を確認したものと考えられ、中世までの周溝の廃絶に伴いこれにあわせて外周堤上に祭祀されたと思われる器財埴輪や円筒埴輪などの埴輪列が倒壊若しくは破棄され、埋没したものと考えられる。

過去未整理のタンチ山古墳の整理業務を平成19年度国庫補助事業を受けて、実施したものです。

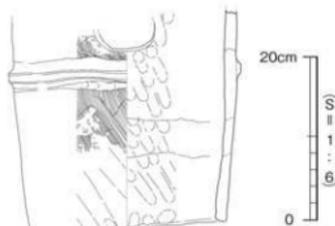


図2 円筒埴輪（底部）



写真1 埴輪等遺物検出状況（北東より）

V 平成19年度
普及啓発事業

平成 19 年度の普及啓発事業

埋蔵文化財センターは、松山市内における遺跡の発掘調査を行うとともに、出土遺物や記録資料などを整理・保管している。発掘調査終了後は、随時現地説明会を開催するとともに発掘調査報告書を刊行することにより、広く一般に公開している。

また附属の考古館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置されたものであり、展示会、講演会、体験学習セミナーを開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を支援しながら、埋蔵文化財保護思想の普及啓発に努めている。平成 19 年度は下記の各種事業を実施した。

1. 展示活動
2. 教育普及活動
3. 収集・保管活動
4. 広報・出版活動
5. 資料の貸出・調査
6. 職員研修・会議
7. 考古館月別入館者数調

一方、埋蔵文化財センターに隣接して設置されている文化財情報館は、松山市内で出土した文化財資料を整理・保管し、その活用を図るとともに市民に開かれた歴史学習の場としての充実を図り、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって埋蔵文化財保護施設として有機的な活用を図ることを目的としている。

1. 展示活動（表 1）

常設展示室は、「海を媒介とした文化交流の中継地点としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解明し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとした立体的な展示を心がけている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約 500 点である。また、新しい企画として当年度は（7）常設展示室特別企画『葉佐池古墳展』を開催した。

常設展示室に隣接した特別展示室では、期間を限定し開催する展示会として（1）発掘へんろ展、（3）発掘調査速報展〔前期展・後期展〕、（4）特別展、（5）松山城展、（6）遺跡展を開催した。その他（2）松山市考古館写真展を松山市役所・いよてつ高島屋の 2ヶ所で開催した。

（1）第 4 回 四国・埋蔵文化財センター巡回展 「発掘へんろー遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波一」（表 1-1）

この展示会は、四国内の埋蔵文化財センター 5 団体が合同で開催する巡回展である。5 団体が近年、発掘調査して出土した遺物を持ち寄り、今までに蓄積された情報を提供・交換することによって、観覧者の方々に埋蔵文化財の重要性を認識していただくというものである。

（2）松山市考古館写真展（表 1-2）

この展示会は、後述する考古館で開催する各展示会の案内を兼ねて、遺跡や遺物の写真パネルを紹介するものである。当年度は松山市役所本館 1 階ロビー・いよてつ高島屋ふれあいギャラリーの 2ヶ所において写真パネルと解説パネルを設置し、PR に努めた。

（3）発掘調査速報展「むかし・昔のまつやまを掘る」（表 1-3）

この展示会は、前年度に松山市内で相次いで発見された重要な遺跡・遺物を速報的に紹介し、また、新たに発掘調査報告書が刊行された遺跡について、写真やイラスト・図面を交えながら紹介するもの

である。当年度は、前期展と後期展の2回に分けて実施した。前期展では前年度の平成18年度に発掘調査された松山城東郭跡や北久米遺跡4・6次調査地を含む34遺跡を取り上げて、その出土遺物約100点を展示し、後期展では平成18年度に発掘調査報告書が刊行された「柳味地区」の遺跡を展示し、報告書に掲載した代表的な遺物約80点や調査時の写真パネルを展示した。

(4) 特別展「鳥取・弥生の王国」(表1-4)

この展示会は、考古館最大の事業であり、県内外の博物館等から貴重な遺物を借用し、系統的に展示を展開するものである。当年度は、全国的に注目されている鳥取県の弥生遺跡からの出土品50点を展示した。特に、出土が稀な琴の展示をし、復元した弥生琴と邦楽を奏する講演会や、復元した弥生琴を実際に弾くことの出来る体験コーナーを設置し、体感する展示会にした。

(5) 松山城展(表1-5)

この展示会は、松山市のシンボルであり、市民の関心が非常に高い遺跡である松山城の発掘成果を紹介するものである。松山城では、平成13年度から発掘調査が実施され、毎年貴重な出土品や遺構が発見されている。そこで、発掘の成果をより多く市民に知って頂くために、発掘成果を展示し、松山城および文化財保護への関心をより高めるために行った。本展示会では、平成19年の8月～12月に発掘調査した三之丸と黒門で出土した考古資料を主体に約50点を展示した。

(6) 遺跡展「掘ったぞな・文京遺跡」(表1-6)

遺跡展では、今年度から開催する新しい企画で、学区・公民館校区を地域単位とし地域の遺跡や出土品を紹介するものである。当年度は、清水地区にある文京遺跡を取り上げた。文京遺跡は、松山平野の中心的な弥生集落で、西日本地方有数の弥生集落である。その出土品は約100点を展示した。

(7) 常設展示室特別企画「葉佐池古墳展」(表1-7)

当年度は、新たな試みとして常設展示室にて特別企画「葉佐池古墳展」を開催した。市内小野地区にある葉佐池古墳は1992年(平成4年)に偶然にも発見され、発掘調査の結果、盗掘がなくかつ遺存が良く、当時の埋葬や儀式の様子が分かる貴重な資料として全国的に有名となった。今回、出土品の分析・保存が済み、1号木棺を除く資料がセンターに返却されたことから、報告書「葉佐池古墳」に掲載された出土品のほぼ全てを初めて展示した。

2. 教育普及活動(表2-7)

教育普及活動としては、職員の資質向上を目的とした調査研究会と、一般市民を対象に埋蔵文化財保護思想の普及啓発を目的とした講演会・体験学習セミナー・考古学講座などがある。

(1) 調査研究会

発掘現場における調査方法や報告書作成のために各分野での第一人者を招聘し、助言をいただき、職員の資質向上をめざしている。

(2) 講演会・展示解説会・演奏会(表2)

各展示会に伴う展示解説会、講演会、演奏会等を行った。また、当年度から考古館ロビーにて箏コンサートを開催し、好評をえた。

(3) 初心者のための考古学講座(表2-7)

当年度は「東アジアの遺跡を学ぶ」をテーマに計5回の講座を実施した。特に、第3回に実施し

た発掘現場見学は好評をえた。

(4) 初心者のための埋蔵文化財講座(表2-8)

この講座は、当年度に初めて実施した講座で、「埋蔵文化財センターの仕事」をテーマに計5回の講座を当センター調査員が講師となり実施した。

(5) クラフト教室「石を磨いて勾玉作り」(表3-1)

当教室は、石製の勾玉作りを体験するので大人から子供まで自由な発想で石製勾玉を製作することにより古代人の苦勞や知恵を学ぶことを目的としている。

(6) 夏休み古代体験学習(表3-2)

小中学生と親子を対象にしたもので、火おこしと石製勾玉作りをすることにより、古代人の生活や知恵を学ぶことを目的に実施したものである。

(7) 大人のための体験学習セミナー「ガラス勾玉を作ろう！」(表3-3)

当セミナーは、13歳以上の市民を対象にしたもので、古代風ガラス勾玉を製作することにより、古代人の苦勞や知恵を学ぶことを目的に実施したものである。

(8) 体験学習(表4)

平成19年度に86件の団体が来館され、常設展示や収蔵庫等の施設見学をするとともに、火おこし体験などを実施した。

(9) 現地説明会(表5)

遺跡の見学を通して、市民が埋蔵文化財に対する興味や関心をより一層持ってもらうために開催するものである。当年度は、7ヶ所の遺跡において現地説明会を実施した。

(10) 博物館学芸員実習

平成6年度から博物館学芸員資格の取得を希望する学生に対し、実習を実施している。当年度は、8～9月の期間に10名を受け入れ、屋外実習と屋内実習を実施した。屋内実習では、展示実習(展示解説や来館者案内)や体験講座の実習(火おこし体験・石製勾玉の製作の指導方法)、展示道具の整理などのカリキュラムを実施した。

(11) 職場体験(表6)

当センターでは、中・高校生教育の一環として実施されている「職場体験学習」を受託している。当年度は4校の生徒を受け入れ、埋蔵文化財の発掘調査業務や屋内整理業務等を体験した。

(12) 出前考古学講座(表7)

「総合的な学習の時間」、「選択教科社会科の授業」、「文化祭」等の利用では、各学校からの要請を受けて、学校や公民館に赴き出前考古学教室を実施した。当年度は94回実施した。

3. 収集・保管活動

(1) 埋蔵文化財関連

当年度は、松山市教育委員会に対し、2名の篤志家から考古資料の寄贈願いを受けた。

(2) 大連古代ハス

平成10年4月に松山市農業指導センターから古代ハスの株を分けていただいた。この古代ハスは、平成8年1月に中国大連市の観光訪問団が表敬訪問で松山を訪れた際に、大連市観光局局長の張安宏氏から大連市で出土した1千年前のハスの種子を松山市に寄贈していただいたもので、農業指導セン

ターが育成していたものである。当年度は、80輪以上が開花した。

4. 広報・出版活動（表8・9）

当センターでは、考古館主催の展示会・講演会などを開催するに先立ち、多くの観覧者を募るためにポスターやリーフレットを発行している。また、発掘調査の成果を公開する発掘調査報告書を刊行している。研究者はもとより市民の方々においても、これらの出版物を大いに活用していただくことで埋蔵文化財保護の普及啓発に役立つものと思われる。

5. 資料の貸出・調査（表10・11）

当センターでは、各博物館や教育委員会主催事業への出展や、研究者からの資料調査の要望などに応じるべく、可能な限りの資料の貸出や調査協力を行っている。

6. 職員研修・会議（表12）

当センターでは、独立行政法人奈良文化財研究所で実施されている発掘技術者研修をはじめとして、各種研修や会議に参加している。こうした研修や会議には、積極的に参加することにより、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

7. 考古館月別入館者数調（表13）

表1 展示会一覧

No	展示会名	会 期	会 場	観覧者数
1	第4回四国・埋蔵文化財センター巡回展 「発掘へんろー遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波一」	平成19年4月21日（土）～7月16日（月・祝）	特別展示室	3,278人
2	松山市考古館写真展	①平成19年5月16日（水）～5月21日（月） ②平成19年6月5日（火）～6月15日（金） ③平成19年7月25日（水）～7月30日（月） ④平成19年7月31日（火）～8月10日（金） ⑤平成19年10月30日（火）～11月9日（金） ⑥平成20年2月5日（火）～2月20日（水）	①いよてつ高島屋 ②松山市役所本館 ③いよてつ高島屋 ④松山市役所本館 ⑤松山市役所本館 ⑥松山市役所本館	一般市民対象 ①不明 ②不明 ③251人 ④不明 ⑤不明 ⑥不明
3	発掘調査速報展 「むかし、昔のまつやまを掘る」	（前期展）平成19年7月28日（土）～9月2日（日） （後期展）平成19年9月8日（土）～9月30日（日）	特別展示室	1,229人 580人
4	特別展「鳥取・弥生の王国」	平成19年10月27日（土）～12月9日（日）	特別展示室	866人
5	松山城展	平成19年12月22日（土）～平成20年1月20日（日）	特別展示室	350人
6	遺跡展「掘ったぞな・文京遺跡」	平成20年1月26日（土）～3月30日（日）	特別展示室	2,945人
7	特別企画「粟佐池古墳展」	平成20年2月1日（金）～3月30日（日）	常設展示室	2,122人

普及啓発事業

表2 教育普及活動(講演会等)一覧

(敬称略)

No	事業名	日時	会場	講師・報告者	聴講者数
1	第4回四国・埋蔵文化財センター 巡回展「発掘へんろ」展示報告会	平成19年4月21日(土)	講堂	当センター主任学芸員 梅木謙一	44人
2	第4回四国・埋蔵文化財センター 巡回展「発掘へんろ」展示解説会	①平成19年5月1日(火) ②平成19年6月9日(土) ③平成19年7月14日(土)	特別 展示室 講堂	①当学芸員 梅木謙一 ②当センター職員 宮内慎一 ③愛媛県埋蔵文化財調査センター職員 多田 仁	① 47人 ② 32人 ③ 11人
3	発掘調査報告会 「むかし・昔のまつまを語る」	①平成19年8月18日(土) ②平成19年9月8日(土)	講堂	①当センター調査員 栗田茂敏 他8名 ②徳島大学准教授 定森秀雄 松山市教育委員会文化財課 加島次郎	① 74人 ② 75人
4	特別記念講演会 第1回「妻木晩田道跡」 第2回「弥生琴の音色」 第3回「弥生の博物館青谷上寺地道跡」	①平成19年10月27日(土) ②平成19年11月10日(土) ③平成19年12月8日(土)	講堂	①鳥取県教育委員会 演田竜彦 ②奈良文化財研究所 深澤芳樹 天理大学講師 中村夢山 ③鳥取県教育委員会 高尾浩司	① 73人 ② 124人 ③ 69人
5	特別記念演奏会	平成19年11月10日(土)	講堂	天理大学講師 中村夢山 (財) 正派邦楽会大師範 前谷雅貴	143人
6	特別記念演奏会 ロビーコンサート	①平成19年11月10日(土) ②平成19年11月17日(土) ③平成19年12月8日(土)	エント ランス	①内高雅千穂(松山東雲女子大学2回) 笹岡隆一(高知大学3回) 村上栄比路(上高町立生名小学校6年) 林雅崇桜(松山東雲女子大学4回) ②内高雅千穂(松山東雲女子大学2回) ③(財) 正派邦楽会大師範 前谷雅貴 林雅崇桜(松山東雲女子大学4回)	① 83人 ② 41人 ③ 118人
7	初心者のための考古学講座 「東アジアの道跡を学ぶ」 第1回 愛媛の馬具と東アジア 第2回 古墳時代の松山と韓国南部 第3回 中国の道跡と考古学 第4回 発掘現場見学 第5回 シルクロードの考古学	①平成19年5月19日(土) ②平成19年6月2日(土) ③平成19年7月7日(土) ④平成19年8月4日(土) ⑤平成19年9月1日(土)	講堂 * * 現場 講堂	①松山市文化財保護審議委員 名本二六雄 ②愛媛大学助教 三吉秀光 ③愛媛大学教授 村上恭通 ④発掘担当職員 宮内慎一 ⑤奈良芸術短期大学教授 前園美知雄	① 121人 ② 110人 ③ 97人 ④ 78人 ⑤ 100人
8	初心者のための埋蔵文化財講座 第1回 埋蔵文化財センターの仕事 第2回 試掘調査と松山平野の道跡分布 第3回 出土遺物と保存 第4回 コンピューターと考古学 第5回 埋蔵文化財と写真	①平成19年11月3日(土) ②平成19年12月1日(土) ③平成20年1月12日(土) ④平成20年2月2日(土) ⑤平成20年3月1日(土)	講堂 * * * *	①当センター主任調査員 栗田茂敏 ②当センター主任調査員 武正良浩 ③当センター調査員 山本健一 ④当センター調査員 小笠原善治 ⑤当センター調査員 大西朝子	① 59人 ② 48人 ③ 42人 ④ 52人 ⑤ 44人
9	松山城展 展示解説会	平成20年1月19日(土)	講堂	松山市教育委員会文化財課 西村直人	72人
10	ロビーコンサート	①平成20年1月19日(土) ②平成20年2月16日(土) ③平成20年3月1日(土)	エント ランス	①村上栄比路(上高町立生名小学校6年) (財) 正派邦楽会大師範 前谷雅貴 ②笹岡隆一(高知大学3回) 神竹佑一(高知大学4回) ③中野都和香(正派邦楽会准師範)	① 22人 ② 32人 ③ 21人
11	道跡展 展示解説会	平成20年1月26日(土)	講堂	当館学芸員 小玉翠紀子	52人
12	特別企画 「栗佐池古墳展」展示解説会	平成20年2月9日(土)	講堂	当センター主任調査員 栗田茂敏	73人
13	道跡展記念講演会 第1回「掘ったぞな・文京道跡」 第2回「文京・弥生集落の拡散」 「マツリの道具・分銅形土製品」	①平成20年2月16日(土) ②平成20年3月8日(土)	講堂	①愛媛大学法文学部教授 下條信行 ②松山市文化財保護審議委員 名本二六雄 当センター主任調査員 山之内志郎	① 93人 ② 123人

普及啓発事業

表3 教育普及活動(体験教室)一覧

No	事業名	日時	会場	参加者数
1	クラフト教室 「石を磨いて勾玉作り」	①平成19年5月3日(木) ②平成19年6月23日(土) ③平成19年10月28日(日) ④平成20年3月29日(土)	松山市考古館 屋外	① 47人 ② 54人 ③ 27人 ④ 75人
2	夏休み古代体験教室	①平成19年7月28日(土) ②平成19年8月11日(土) ③平成19年8月25日(土)	講堂 松山市考古館屋外	① 36人 ② 98人 ③ 21人
3	大人のための体験学習セミナー 「ガラス勾玉を作ろう!」	①平成19年11月17日(土) ②平成19年12月15日(土)	講堂 松山市考古館屋外	① 26人 ② 32人

表4 教育普及活動(体験学習)一覧(1)

No	学校名・学年及び団体名	学年	期間	内容	参加者数
1	ボーイスカウト 松山28団	—	平成19年4月1日(日)	展示見学・火おこし体験	17人
2	松山市立味生第二小学校	6年生	平成19年4月17日(火)	展示見学・火おこし体験	111人
3	歴史散歩の会(祝華園)	—	平成19年4月19日(木)	展示見学	25人
4	松山市立味酒小学校	6年生	平成19年5月2日(水)	展示見学・火おこし体験	82人
5	松山市立味酒小学校	6年生	平成19年5月8日(火)	展示見学・火おこし体験	82人
6	松山市立宮前小学校	6年生	平成19年5月11日(金)	展示見学・火おこし体験	115人
7	松山市立二神小学校	2～5年生	平成19年5月12日(土)	展示見学・火おこし体験	9人
8	松山市立道後小学校	6年生	平成19年5月16日(水)	展示見学・火おこし体験	116人
9	愛媛大学留学生	—	平成19年5月17日(木)	展示見学・火おこし体験	11人
10	デイサービス 遊楽荘	—	平成19年5月23日(水)	展示見学	10人
11	松山市立小野小学校	6年生	平成19年5月25日(金)	展示見学・火おこし体験	173人
12	松山市立味生小学校	6年生	平成19年6月5日(火)	展示見学・火おこし体験	123人
13	文化財語り サロンことぶき	—	平成19年6月8日(金)	展示見学	37人
14	松山市立味酒小学校	6年生	平成19年6月17日(日)	勾玉作り	2人
15	ニチイデイケアセンター やまごえ	—	平成19年6月20日(水)	展示見学	15人
16	久万文化協会	—	平成19年6月20日(水)	展示見学	69人
17	デイサービス いずみ	—	平成19年6月20日(水)	展示見学	66人
18	私立新田青雲中等教育学校	1年生	平成19年6月21日(木)	展示見学・火おこし体験・勾玉作り・古墳見学	118人
19	松山市立味生第二小学校	3年生	平成19年6月22日(金)	展示見学	15人
20	松山市立新玉小学校	3年生	平成19年6月22日(金)	展示見学	6人
21	愛媛大学 授業	—	平成19年6月23日(土)	展示見学	9人
22	なごみの会(三津)	—	平成19年6月26日(火)	展示見学	20人
23	デイサービス そがの里	—	平成19年6月28日(木)	展示見学	15人
24	松山市立山由小学校	6年生	平成19年7月10日(火)	展示見学	8人
25	デイサービスセンター シエスタ本町	—	平成19年7月10日(火)	展示見学	18人
26	デイサービスセンター ジョイフル	—	平成19年7月10日(火)	展示見学	9人
27	デイサービスセンター ジョイフル	—	平成19年7月12日(木)	展示見学	9人
28	デイサービスセンター ジョイフル	—	平成19年7月13日(金)	展示見学	12人
29	五明の里堂体験学習	—	平成19年7月15日(日)	土器作り	26人
30	味生老人デイサービス	—	平成19年7月18日(水)	展示見学	16人
31	味生老人デイサービス	—	平成19年7月19日(木)	展示見学	14人
32	北斎院デイホーム すみれきたさや	—	平成19年7月19日(木)	展示見学	12人
33	味生老人デイサービス	—	平成19年7月20日(金)	展示見学	16人
34	親子ふれあい体験	—	平成19年7月22日(日)	展示見学	69人
35	松山市小学校社会科主任会	—	平成19年7月23日(月)	展示見学	50人
36	松山市小学校研修主任会	—	平成19年7月24日(火)	展示見学	74人
37	伊予市北山崎小学校	—	平成19年7月24日(火)	展示見学	7人
38	松山市立浮穴小学校	6年生	平成19年7月27日(金)	展示見学・火おこし体験	62人
39	松山市学校事務主任会	—	平成19年7月31日(火)	展示見学	96人
40	養護教員研修会	—	平成19年8月2日(木)	展示見学	82人
41	コスモス松山知歌会	—	平成19年8月5日(日)	展示見学	20人
42	地城学習振興課	—	平成19年8月22日(水)	展示見学	3人
43	五明の里堂体験学習	—	平成19年8月26日(日)	土器作り	51人

教育普及活動(体験学習)一覧(2)

No.	学校名・学年及び団体名	学 年	期 間	内 容	参加者数
44	星稜国際高等学校 広島学習センター	—	平成19年8月30日(木)	展示見学	4人
45	五明の里童体験学習	—	平成19年9月2日(日)	土器作り	37人
46	日本考古学協会	—	平成19年9月7日(金)	展示見学	6人
47	愛媛俳句の会	—	平成19年9月22日(土)	展示見学	8人
48	長浜町史談会	—	平成19年9月22日(土)	展示見学	14人
49	愛媛大学 授業	—	平成19年9月26日(水)	展示見学	58人
50	デイサービス こうの	—	平成19年9月30日(日)	展示見学	10人
51	松山市立津田中学校	1年生	平成19年10月3日(水)	展示見学・火おこし体験	28人
52	高崎市議会	—	平成19年10月3日(水)	展示見学	15人
53	デイサービス こうの	—	平成19年10月7日(日)	展示見学	7人
54	子供チャレンジ教室	4年生	平成19年10月14日(日)	展示見学	13人
55	日本奉仕団(小野分団)	—	平成19年10月29日(月)	展示見学	38人
56	はりデイサービス	—	平成19年11月1日(水)	展示見学	12人
57	サロンあらたま苑	—	平成19年11月2日(金)	展示見学	14人
58	大洲市立栗津小学校	5・6年生	平成19年11月8日(木)	展示見学・火おこし体験	25人
59	松山市立雄新中学校	2年生	平成19年11月8日(木)	展示見学・火おこし体験	10人
60	サロン北斎館	—	平成19年11月21日(水)	展示見学	22人
61	愛媛大学留学生	—	平成19年11月21日(水)	展示見学・火おこし体験	16人
62	サクラメント市 教員と通訳	—	平成19年11月21日(水)	展示見学	4人
63	都市環境センター	—	平成19年11月25日(日)	展示見学	20人
64	西条市岡布小学校	6年生	平成19年11月29日(水)	展示見学・火おこし体験	38人
65	デイサービスセンター アテナ	—	平成19年12月6日(木)	展示見学	9人
66	愛媛新聞 カルチャースクール	—	平成19年12月8日(土)	展示見学	8人
67	デイサービスセンター アテナ	—	平成19年12月11日(火)	展示見学	7人
68	早稲田実業高校 修学旅行	—	平成19年12月19日(水)	展示見学	5人
69	四国舞鶴中学校 初等部	1～4年生	平成20年2月2日(土)	展示見学・火おこし体験	11人
70	愛媛大学 授業	—	平成20年2月2日(土)	展示見学	52人
71	第一高等学校	—	平成20年2月7日(木)	展示見学	2人
72	俳句の会	—	平成20年2月13日(水)	展示見学	7人
73	松山市立北吉井小学校	5年生	平成20年2月28日(木)	展示見学・火おこし体験	85人
74	酒会	—	平成20年3月2日(日)	展示見学	132人
75	段ノ上町内会	—	平成20年3月2日(日)	展示見学	20人
76	北沢町老人クラブ	—	平成20年3月4日(火)	展示見学	8人
77	松山市立素鷲小学校	5年生	平成20年3月5日(水)	展示見学・火おこし体験	95人
78	松山市立壱山小学校	5年生	平成20年3月5日(水)	展示見学・火おこし体験	155人
79	松山市立さくら小学校	5年生	平成20年3月5日(水)	展示見学・火おこし体験	156人
80	砥部町立砥部小学校	6年生	平成20年3月6日(木)	展示見学・火おこし体験	56人
81	松山市立北中学校	1年生	平成20年3月11日(火)	展示見学・火おこし体験	84人
82	三間公民館	—	平成20年3月11日(火)	展示見学	12人
83	美川文化協会	—	平成20年3月16日(日)	展示見学	18人
84	マルコポロム「弥生時行句会」	—	平成20年3月20日(木)	展示見学	21人
85	文化財語り	—	平成20年3月23日(日)	展示見学	44人
86	小野三徳たふれあい会	—	平成20年3月28日(金)	展示見学・火おこし体験	55人

表5 教育普及活動(現地説明会)一覧

No.	遺跡名	日 時	遺跡の主な概要	見学者数
1	柳井四反地遺跡 17 次調査 柳井四反地遺跡 18 次調査	平成19年7月7日(土) 14:00~15:30	(17次)官衙関連施設の可能性がある掘立柱建物 (18次)大型建物の北西隅の柱穴の検出。 使用方法がわかる支脚の出土	80人
2	東本遺跡 9 次調査	平成19年8月4日(土) 9:30~11:00	弥生時代後期後葉の竪穴住居内で大量の遺物が出土	230人
3	久米高畑遺跡 69 次調査	平成19年10月27日(土) 10:00~11:30	官衙関連施設の可能性のある掘立柱建物 弥生時代の土坑	80人
4	柳井高本遺跡 15 次調査	平成20年1月28日(月) 10:00~11:00	弥生時代末の竪穴住居、古墳時代後期の竪穴住居、古墳時代後期以降の掘立柱建物	15人
5	善忠寺大庭北遺跡	平成20年2月9日(土) 10:00~11:00	中世以降の掘立柱建物 弥生時代の土坑	50人
6	柳井四反地遺跡 19 次調査	平成20年3月8日(土) 10:00~11:30	官衙関連施設の可能性のある掘立柱建物、弥生時代後期～古墳時代の竪穴住居、弥生時代後期末の土坑	60人
7	善佐池古墳 5 次調査	平成20年3月23日(日) 10:00~15:00	墳丘確認調査により全長 40 m、最大幅 24 m の南円墳壇となることが判明	200人

普及啓発事業

表6 教育普及活動（職場体験）一覧

No	学校名・学年	日時	内容	参加者数
1	松山市立勝山中学校2年生	平成19年10月19日（金）10：30～15：00	発掘調査の体験	3人
2	松山北高等学校1年生	平成19年10月19日（金）13：30～16：50 平成19年11月1日（水）13：30～15：50	埋蔵文化財センター 考古館の見学	5人 4人
3	松山市立久米中学校2年生	平成19年11月12日（月）10：00～15：00 平成19年11月13日（火）10：00～15：00	発掘調査の体験 考古館の職場体験	4人 4人
4	松山市立藤新中学校3年生	平成19年11月14日（水）12：00～16：00	発掘調査の体験	10人

表7 教育普及活動（出前考古学講座）一覧（1）

No	学校名・学年及び団体名	学年	期間	内容	参加者数
1	パートナーハウスかたれあ	—	平成19年4月18日（水）	勾玉作り	10人
2	素鷲公民館	—	①平成19年5月10日（木） ②平成19年5月31日（木） ③平成19年6月28日（木）	講義 講義 勾玉作り	150人 41人 40人
3	松山市立みどり小学校	4～6年生	①平成19年4月25日（水） ②平成19年5月17日（木） ③平成19年5月21日（月） ④平成19年5月24日（木） ⑤平成19年6月14日（木） ⑥平成19年7月12日（木） ⑦平成19年7月19日（木） ⑧平成19年10月15日（月） ⑨平成19年10月25日（木） ⑩平成19年11月15日（木） ⑪平成20年1月17日（木） ⑫平成20年1月24日（木） ⑬平成20年2月14日（木） ⑭平成20年3月6日（木）	クラブ活動 クラブ活動・火おこし 6年生・講義・火おこし クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動 クラブ活動	30人 30人 88人 30人 30人 30人 30人 30人 30人 30人 30人 30人 30人 30人 30人 30人
4	松山市立味噌小学校	6年生	①平成19年5月14日（月） ②平成19年5月30日（水） ③平成19年5月31日（木） ④平成19年6月1日（金） ⑤平成19年6月14日（木） ⑥平成19年7月12日（木） ⑦平成19年10月17日（水）	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	160人 86人 44人 44人 161人 161人 160人
5	私立新田高等学校	2年生	①平成19年5月23日（水） ②平成19年5月28日（月） ③平成19年7月10日（火） ④平成19年7月11日（水） ⑤平成19年7月12日（木） ⑥平成19年7月17日（火） ⑦平成19年7月18日（水） ⑧平成20年2月15日（金） ⑨平成20年2月19日（火） ⑩平成20年2月20日（水） ⑪平成20年2月21日（木） ⑫平成20年2月22日（金） ⑬平成20年2月26日（火） ⑭平成20年2月28日（木） ⑮平成20年3月10日（月） ⑯平成20年3月12日（水）	講義 講義・火おこし体験 講義 講義 勾玉作り 火おこし 講義 鑄型作り 講義・勾玉作り 講義・勾玉作り 講義・勾玉作り 勾玉作り 勾玉作り 勾玉作り 鑄型入れ ガラス勾玉作り	29人 29人 19人 30人 30人 30人 30人 29人 44人 29人 29人 29人 22人 22人 29人 29人
6	北条ふるさと館	—	平成19年5月26日（土）	火おこし体験	43人

普及啓発事業

教育普及活動（出前考古学講座）一覧（2）

No	学校名・学年及び団体名	学年	期 間	内 容	参加者数
7	松山市立小野中学校	1年生	①平成19年5月30日（水）	講義	4人
			②平成19年6月8日（金）	講義	152人
			③平成19年7月3日（火）	古墳見学	152人
			④平成19年7月5日（木）	講義	152人
8	松山市立双葉小学校	6年生	①平成19年5月24日（木）	講義	32人
			②平成19年5月29日（火）	講義	68人
			③平成19年6月4日（月）	火おこし体験	32人
			④平成19年6月6日（水）	講義	32人
			⑤平成19年6月12日（火）	講義	98人
			⑥平成19年6月18日（月）	講義	32人
			⑦平成19年6月21日（木）	塩作り	98人
			⑧平成19年7月19日（木）	講義	32人
			⑨平成20年3月6日（木）	講義	130人
9	星の子クラブ	—	①平成19年6月9日（土）	勾玉作り	70人
			②平成20年1月12日（土）	火おこし・塩作り	32人
10	味生公民館	—	①平成19年6月15日（金）	勾玉作り	34人
			②平成19年7月30日（月）	勾玉作り	20人
11	藤部公民館	—	平成19年8月1日（水）	勾玉作り	36人
12	松山市立東中学校	1年生 全学年	①平成19年7月9日（月）	講義	74人
			②平成19年11月2日（金）	講義	40人
13	松山市立浮穴小学校	6年生	①平成19年6月29日（金）	勾玉作り	110人
			②平成19年7月6日（金）	講義	107人
14	松山市立城西中学校	2年生	①平成19年11月21日（水）	講義	59人
			②平成19年12月4日（火）	ガラス勾玉作り	60人
			③平成20年2月13日（水）	ガラス勾玉焼成	60人
			④平成20年3月12日（水）	講義	59人
15	由良公民館	—	平成19年8月7日（火）	勾玉作り	30人
16	坂の上の雲ミュージアム	—	平成19年8月25日（土）	講義	30人
17	久米公民館	—	①平成19年9月7日（金）	講義	90人
			②平成19年10月20日（土）	勾玉作り	26人
18	松山市立津田中学校	1・2 年生	①平成19年9月21日（金）	講義	32人
			②平成19年9月26日（水）	講義・火おこし体験	32人
			③平成19年10月1日（月）	講義	30人
			④平成19年10月31日（水）	勾玉作り	30人
19	松山市立石井東小学校	6年生	①平成19年7月13日（金）	講義	32人
			②平成19年9月27日（木）	講義・火おこし体験	144人
			③平成19年11月21日（水）	講義	32人
			④平成20年2月24日（日）	講義	33人
20	泊公民館	—	平成19年7月21日（土）	火おこし体験・勾玉作り	15人
21	河野公民館	—	平成19年7月21日（土）	火おこし体験	48人
22	松山市立道後小学校	全学年	平成19年7月22日（日）	火おこし体験	200人
23	野外活動センター「野外まつり」	—	平成19年10月28日（日）	火おこし体験	—
24	松山市立北中学校	全学年	平成19年11月3日（土）	勾玉作り	27人
25	松山市立鶴川中学校	全学年	平成19年11月3日（土）	勾玉作り	18人
26	松山市立藤新中学校	全学年	平成19年11月4日（日）	勾玉作り	32人
27	松山市立瀬見小学校	全学年	①平成19年12月1日（土）	土器作り	42人
			②平成20年1月12日（土）	土器焼き	40人
			③平成20年2月10日（日）	土器焼き	20人
28	風早自然学校ボレボレ	—	平成20年2月9日（土）	火おこし体験	40人
29	サロシ新玉苑	—	平成20年2月22日（金）	勾玉作り	14人
30	生涯学習フェスタ	—	①平成20年3月1日（土）	埋蔵文化財センター ・考古館紹介展示	—
			②平成20年3月2日（日）		
31	高浜公民館	—	平成20年3月20日（木）	勾玉作り	43人

表8 出版物（教育普及活動）一覧

No.	出版物名	発行日	対象	取組・頁	部数
1	発掘へんろ展 ポスター * チャラシ	平成19年4月	一般	B2 A4・2頁	600枚 10000枚
2	発掘へんろ展展示解説会 レジュメ	平成19年6月 平成19年7月	聴講者	A3・2頁 A4・2頁	40部 150部
3	考古学講座 (1) レジュメ * (2) * * (3) * * (4) * * (5) *	平成19年6月～10月	聴講者	A3・2頁、B4・1頁 A3・2頁 A3・2頁、B4・1頁 A3・2頁 B4・4頁	150部 150部 150部 150部 150部
4	発掘調査速報展 前期 ポスター * チャラシ	平成19年7月	一般	A2 B5・2頁	500枚 2500枚
5	発掘調査速報展 後期 ポスター * チャラシ	平成19年8月	一般	A2 B5・3頁	500枚 2500枚
6	発掘調査報告会 レジュメ	平成19年7月 平成19年8月	聴講者	A4・34頁 A4・44頁	150部 150部
7	特別展 ポスター * パンフレット * チャラシ	平成19年10月	一般	B2 A4・16頁 B5・2頁	600枚 3500部 10000枚
8	特別展 記念講演会① レジュメ * 記念講演会② * * 記念講演会③ *	平成19年10月～12月	聴講者	A4・3頁 A4・9頁、B4・3頁 A4・15頁	200部 200部 200部
9	歴史文化財講座 (1) レジュメ * (2) * * (3) * * (4) * * (5) *	平成19年10月 ～ 平成20年3月	聴講者	B5・7頁 B4・1頁、A4・1頁、B5・2頁 B5・4頁 A4・2頁 A4・2頁	150部 150部 150部 150部
10	松山城展 展示解説会 レジュメ	平成20年1月	聴講者	B5・2頁 A4・5頁 B4・2頁	150部
11	道跡展 ポスター * チャラシ	平成20年1月	一般	B2 B5・2頁	500枚 10000枚
12	道跡展 展示解説会 レジュメ * 記念講演会① レジュメ * 記念講演会② *	平成20年1月 平成20年2月 平成20年3月	聴講者	B4・2頁 A3・1頁、A4・4頁 A4・10頁	150部 150部 150部
13	業佐池内墳展示解説会 レジュメ	平成20年2月	聴講者	A4・10頁	150部

表9 出版物（調査報告書）一覧

No.	報告書名	発行日	対象	取組・頁	冊数
1	松山市文化財調査報告書 第121集 『来住・久米地区の道跡Ⅲ』	平成20年3月31日	一般	A4・170頁	300冊
2	松山市文化財調査報告書 第122集 『北条片町道跡』	平成20年3月31日	一般	A4・82頁	800冊
3	松山市文化財調査報告書 第123集 『道後湯月町道跡 道後湯之町道跡』	平成20年3月31日	一般	A4・130頁	800冊
4	松山市文化財調査報告書 第124集 『鶴が崎道跡Ⅱ』	平成20年3月31日	一般	A4・238頁	600冊
5	松山市文化財調査報告書 第125集 『桜松道跡-7次・8次・9次・10次調査-』	平成20年3月31日	一般	A4・296頁	800冊
6	松山市文化財調査報告書 第126集 『平井道跡2次調査、水記道跡-1次・2次・3次調査-、 高井道跡1次調査、南高井道跡-2次・3次調査-』	平成20年3月31日	一般	A4・308頁	800冊
7	松山市文化財調査報告書 第127集 『久米高領道跡-26次調査-』	平成20年3月31日	一般	A4・134頁	600冊
8	松山市歴史文化財調査年報19（平成18年度）	平成19年12月26日	一般	A4・192頁	600冊

表10 資料の貸出一覧(1)

No.	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出・利用者
1	大洞遺跡 彩文土器	1点	平成19年春季特別展 「縄文から弥生へ」の展示のため	平成19年 4月17日 ～6月29日	滋賀県立 安土城 考古博物館
	モミ丘遺付き縄文土器	2点			
	縄文土器(深鉢)	2点			
	縄文土器(浅鉢)	1点			
	石製取機具(石鎌)	1点			
	石製取機具(石庵丁)	2点			
2	栄住町遺跡10次調査 耳飾	1点	調査、研究のため	平成19年 7月7日 ～10月31日	別府大学
	城の内3号墳 耳飾	2点			
	香町遺跡 耳飾	1点			
	高井遺跡 耳飾	1点			
	客谷8号墳 耳飾	1点			
	東山墓が森8号墳 耳飾	2点			
3	粟依池古墳		平成19年度秋季特別展の 印刷物等への掲載するため	平成19年 7月20日 ～9月21日	大阪府近つ 飛鳥博物館
	崩落土砂撤去後の1号石室(写真)	1点			
	2号石室開口直後の玄門部付近(写真)	1点			
	2号室銅葬土器(写真)	1点			
	2号石室出土の装飾品(写真)	1点			
	復元されたA木棺(写真)	1点			
ハマグリの入った短頸壺(写真)	1点				
4	北斎院地内遺跡4次調査 瓦貫風炉	1点	企画展「戦国市乎風雲録」への 展示及び図録、各種広報物への掲載	(写真) 平成19年 8月16日 ～9月7日 (展示) 平成19年 8月21日 ～12月28日	愛媛県歴史 文化博物館
5	粟依池古墳		平成19年度秋季特別展に 展示するため	平成19年 9月18日 ～12月21日	大阪府近つ 飛鳥博物館
	1号石室 須恵器 杯身	2点			
	須恵器 杯蓋	1点			
	刀子	2点			
	須恵器 短頸壺	1点			
	須恵器 短頸壺蓋	1点			
	ハマグリ	1点			
	復元木棺	1点			
	2号石室 須恵器 子持器台	1点			
	須恵器 脚付子持壺	2点			
	須恵器 筒型器台	1点			
	須恵器 蓋	1点			
	須恵器 無蓋高杯	1点			
	須恵器	1点			
	土師器 壺	1点			
	鉄釘	7点			
	馬鈴	1点			
	杏葉	1点			
	貝製垂飾品	1点			
耳飾	2点				
ガラス玉・薬玉	一連				

資料の貸出一覧(2)

No.	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出・利用者
6	平形銅剣ほか(写真)	15点	徳島市考古資料館の特別企画展「弥生青銅の世界」の展示図録への掲載と展示パネルの作成のため	平成19年 9月19日 ～10月3日	徳島市 教育委員会
7	大洲遺跡出土彩文土器(写真)	1点	日本の美術 第499号 「縄文土器 晩期」に掲載	平成19年 9月25日	株式会社 至文章
8	鶴が峰遺跡I 播磨塚天神山古墳	1点 2点	平成19年度テーマ展「時代のものさし-古墳時代-」に展示するため	平成19年 10月3日 ～3月21日	愛媛県埋蔵文化財調査センター
9	平形銅剣(復元品)ほか	8点	徳島市考古資料館の特別企画展「弥生青銅の世界」に展示するため	平成19年 10月3日 ～12月5日	徳島市 教育委員会
10	古照遺跡出土鉢ほか	24点	平成19年度米子市淀江民俗資料館企画展「海と山を越えた交流～道後・松山の古代文化を通して～」に展示するため	平成19年 10月10日 ～12月14日	米子市 教育委員会
11	祝谷六丁場遺跡 分銅形土製品ほか(写真)	6点	青谷上寺地遺跡展示館ロビー展示「祭祀の遺物?分銅形土製品」に展示するため	平成19年 11月15日 ～11月27日	青谷上寺地 遺跡展示館
12	福音寺菩提F遺跡 弥生土器ほか	6点	平成20年度春季特別展に展示するため	平成19年 12月14日	大阪府弥生 文化博物館

表11 資料の調査一覧

No.	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
1	「免振へんろ」展示品	100点	写真撮影	平成19年4月21日
2	常設展示室展示品	100点	写真撮影	平成19年4月26日
3	常設展示室展示品	100点	研究資料作成のため 写真撮影	平成19年5月5日
4	安芸から来た土器 高松平野から来た土器 豊後から来た土器 前・中・後期の弥生土器	1点 1点 1点 1点	大学のレポート作成のため 写真撮影	平成19年5月9日
5	播磨塚天神山古墳(平底壺) 溝辺2号墳(平底壺) 松ヶ谷1号墳(平底壺)	1点 1点 1点	大学の卒業論文のための 熟覧、写真撮影	平成19年8月5日
6	朝日谷2号墳(斜縁二神二獣鏡)	1点	論文作成のための 熟覧、複写、写真撮影	平成19年9月12日
7	大洲遺跡出土(土偶)	2点	論文作成のための熟覧、複写	平成19年10月1日
8	常設展示室展示品	3点	個人の趣味として利用	平成19年10月8日
9	文京遺跡(弥生土器ほか)	43点	論文作成のための 熟覧、複写	平成19年10月22日～11月2日
10	かいなご1号墳(須恵器ほか)	13点	論文作成のための熟覧、複写	平成19年10月24日
11	大池4号墳(出土鉄刀ほか)	4点	論文作成のための 熟覧、複写、写真撮影	平成19年10月30日～10月31日
12	大峰ヶ台第4次調査(弥生土器ほか)	41点	論文作成のための 熟覧、複写、写真撮影	平成19年11月1日～11月15日
13	祝谷アイリ遺跡(弥生土器ほか)	299点	論文作成のための 熟覧、複写、写真撮影	平成19年11月30日～12月20日
14	古照遺跡6次調査(壺ほか)	23点	論文作成のための 熟覧、複写、写真撮影	平成19年12月6日～12月13日
15	松山大学横内遺跡3次調査(遺物ほか)	73点	論文作成のための 熟覧、複写、写真撮影	平成19年12月12日～12月21日
16	鶴ヶ谷向山古墳(朝顔形埴輪)	1点	論文作成のための 熟覧、複写	平成19年12月26日
17	久米高畑遺跡43次調査(土師器ほか)	11点	論文作成のための 熟覧、複写	平成20年1月12日

表12 職員研修・会議一覧

No.	研修・会議名	日時	開催地	参加者数
1	全国理成文化財法人連絡協議会総会	平成19年6月7・8日(木・金)	埼玉県さいたま市	1名
2	全国理成文化財法人連絡協議会 コンピュータ等研究委員会	平成19年7月26・27日(木・金)	東京都	2名
3	全国理成文化財法人連絡協議会コンピュータ等 研究委員会 中国・四国・九州ブロック地区委員会	平成19年9月6・7日(木・金)	広島市	2名
4	全国理成文化財法人連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	平成19年10月11・12日(木・金)	高知県	4名

表13 平成19年度 考古館月別入館者数調(平成19年4月1日～20年3月31日)(単位:人)

月	開館日数	有料入館者					無料入館者				特別 展示室 入場者数	入館者数	
		一般	高齢者	団体 各種割引	その他	小計	高校生 以下	身障者	その他	小計			
4	26日	222	64	26		312	219	19	5	243	247	802	1,368
5	26日	216	39	0		255	698	0	22	720	1,315	2,290	1,588
6	26日	169	90	69		328	354	5	11	370	1,191	1,889	1,647
7	27日	156	38	221		415	136	5	2	143	767	1,325	1,685
8	27日	193	45	82		320	237	3	0	240	810	1,370	978
9	26日	220	22	1		243	80	0	0	80	654	977	792
10	27日	88	19	38		145	94	3	16	113	103		
	特 4日	44	25	0	14	83	22	0	14	36	106	466	617
11	25日	137	58	5		200	113	25	3	141			
	特 25日	159	82	5	85	331	120	25	101	246	492	833	1,012
12	24日	110	38	0		148	41	3	0	44	55		
	特 8日	75	29	0	99	203	23	4	138	165	269	516	673
1	24日	117	29	0		146	34	3	0	37	491	674	613
2	25日	375	131	0		506	153	7	8	168	1,002	1,676	1,073
3	25日	326	172	197		695	714	8	21	743	1,782	3,220	2,044
計	308日	2,607	881	644	198	4,330	3,038	110	341	3,489	9,283	16,038	14,090

* 「特」は特別展のこと



写真1 特別企画「葉佐池古墳展」風景



写真2 特別展記念演奏会風景



写真3 考古学講座第3回風景



写真4 埋蔵文化財講座第1回風景



写真5 出前教室（火おこし体験）風景



写真6 出前教室（石製勾玉作り）風景



写真7 戦場体験（中学生）風景



写真8 発掘現場見学風景

松山市埋蔵文化財調査年報 20

平成20年12月26日 発行

編集
発行

松山市教育委員会

〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目6-1
TEL (089) 948-6605

財団法人 松山市生涯学習振興財団

埋蔵文化財センター

〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙67番地6
TEL (089) 923-6363
FAX (089) 925-0260

印刷

明星印刷工業株式会社

〒790-0056 愛媛県松山土居田町500番地
TEL (089) 971-7111
